

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020301010100		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	敬老事業		予算事業名	敬老事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)	高齢者の生きがいつくりと社会参加を推進する		担当課長	三浦 貴史		担当者名	岩田 智美
取組み事項	生きがいつくりを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市百歳翁(媪)敬彰要綱、相生市敬老祝金支給要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	最高齢者、最高齢夫婦、百歳到達者、9月15日現在で77歳(喜寿)を迎えた市民、80歳到達者					
	誰(何)を対象として	長寿を祝福する					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生きがいを感じてもらう					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>市の最高齢者及び最高齢夫婦を祝福。9月に市長訪問、祝品の贈呈(初年度のみ)</li> <li>百歳到達者を祝福(市長訪問、祝品贈呈) ・80歳到達者記念写真撮影</li> <li>9月15日現在77歳(喜寿)を迎えた方に祝い金を支給</li> </ul>				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	最高齢者、最高齢夫婦祝福	件	1	1	1	2
	百歳到達者祝福	件	12	8	7	18
	77歳(喜寿)祝福	件	337	396	346	420
	80歳到達者記念写真	件	206	245	264	365

## 3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.388	0.396	102	0.381	96	0.392	103	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,364,757	3,308,126	98	3,219,261	97	3,427,793	106	
	事業費	5,031,981	5,570,304	111	5,210,764	94	6,364,000	122	
	合計	8,396,738	8,878,430	106	8,430,025	95	9,791,793	116	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,396,738	8,878,430	106	8,430,025	95	9,791,793	116	
	合計	8,396,738	8,878,430	106	8,430,025	95	9,791,793	116	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		80歳到達者記念写真撮影者数							
指標説明(式)		80歳到達者記念写真撮影者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	300	370	123.3	385	104.1	365	94.8	
	実績	206	245	118.9	264	107.8			
指標名2		喜寿祝支給件数							
指標説明(式)		喜寿(77歳)祝支給件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	350	415	118.6	360	86.7	420	116.7	
	実績	337	396	117.5	346	87.4			

【効率性】

指標名1		祝福1件当たりの事業費コスト							
指標説明(式)		事業費/延件数(実績)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	8769	8603	98.1	8286	96.3	7906	95.4	
	実績	9050	8557	94.6	8432	98.5			

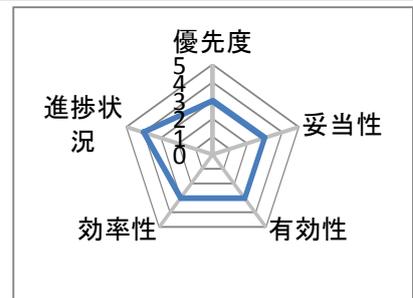
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	核家族化や地域共同体の希薄化等により、長寿を祝ってもらう機会のない高齢者も増加している。行政が祝福する意義はあると考える。	3
	上位施策への貢献度	敬老事業の機会に高齢者の在住確認が出来る。	
効率性	コストの節減	H17の88歳(米寿)の支給の廃止、H18の99歳(白寿)の支給廃止により、支給コストは低減したが、80歳到達記念写真の復活により増。次年度において各敬老事業について検討する必要がある。	3
	手段の最適性	市長が訪問し直接祝うなど、敬老の思いを感じてもらっている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	80歳到達記念写真の支給コストの見直しを行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	支給コストを考え、平成29年度より77歳の祝品を削減し、100歳の祝金を減額する。

配点	32.5
総合評価	20.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020301010200		事業の種類	4		
年度	28	事務事業名	高齢者教育事業		予算事業名	高齢者教育事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		高齢者の生きがいがづくりと社会参加を推進する			担当課長	番匠 真由美	担当者名	根津 恭平
取組み事項		生きがいがづくりを推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	概ね満60歳以上の市民						
	誰(何)を対象として	概ね満60歳以上の市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者の生涯学習を行うことで、生きがいをもって自立した生活が送れる						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		金ヶ崎学園大学の開設						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画		
	金ヶ崎学園大学	回数	14	14	13	14		

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.160	0.120	75	0.112	93	0.112	100	
	臨時職員	0.568	0.440	77	0.440	100	0.440	100	
支出内訳	人件費	2,978,453	2,351,454	79	2,339,426	99	2,434,153	104	
	事業費	684,800	668,818	98	1,281,745	192	1,372,000	107	
	合計	3,663,253	3,020,272	82	3,621,171	120	3,806,153	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	774,500	774,000	100	1,585,700	205	1,460,000	92	
	一般財源	2,888,753	2,246,272	78	2,035,471	91	2,346,153	115	
合計	3,663,253	3,020,272	82	3,621,171	120	3,806,153	105		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		金ヶ崎学園大学学園生							
指標説明(式)		学園生人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	550	550	100.0	550	100.0	550	100.0	
	実績	545	538	98.7	522	97.0			
指標名2		金ヶ崎学園大学年間延参加者数							
指標説明(式)		年間延参加者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	8000	8000	100.0	8000	100.0	8000	100.0	
	実績	7046	6770	96.1	5815	85.9			

【効率性】

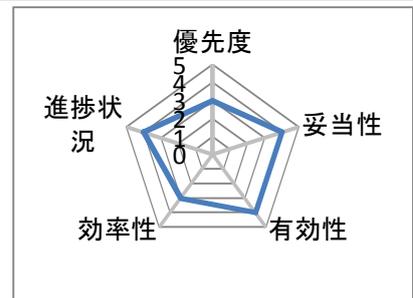
指標名1		1回当たり単位コスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷開設回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	187456	221691	118.3	270084	121.8	271868	100.7	
	実績	261660	215733	82.4	278551	129.1			
指標名2		学園生一人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷学園生人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4772	5643	118.3	6874	121.8	6920	100.7	
	実績	6721	5613	83.5	6937	123.6			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	施設のキャパの関係もあるが、受講者数は上限まできている	4
	市民サービス	高齢化が進むにつれ、年々学園生が増加している	
効率性	コストの節減	参加募集チラシは庁内印刷にするなどコストの節減に努めている	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	学習を通じて地域のリーダーとして活躍いただけるような意識付けをする。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	新たに歴史コースを開設し、ニーズの幅を広げる。

配点	32.5
総合評価	23

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

事業番号		020301020100		事業の種類		5	
年度	28	事務事業名	高年クラブ等社会活動促進事業	予算事業名	高年クラブ等社会活動促進事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名		健康福祉部長寿福祉室	
施策名(中)		高齢者の生きがいつくりと社会参加を推進する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	室井 良太
取組み事項		社会参加と交流を促進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法 在宅福祉事業費補助金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市高年クラブ連合会及び各単位高年クラブ					
	誰(何)を対象として	相生市高年クラブ連合会及び各単位高年クラブ					
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者の教養の向上、健康増進及び生きがいつくりを目的に結成された団体である高年クラブに、活動促進のための補助を行い、高年クラブの目的達成を図る。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		高年クラブ連合会…連合会の広報活動、交通安全活動、一人暮らし等への声かけ運動、清掃奉仕活動費等への補助、健康づくり活動や文化教養活動の実施委託を行っている。単位クラブ…清掃活動、友愛訪問、健康づくり活動、子育て相談等の事業に対する補助。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	助成対象単位クラブ数	クラブ	22	22	22	21	
	助成対象クラブ会員数	人	1231	1195	1058	1100	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.186	0.204	110	0.196	96	0.236	120	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,799,661	1,871,582	104	1,825,286	98	2,195,393	120	
	事業費	3,148,815	3,161,073	100	3,140,567	99	3,133,000	100	
	合計	4,948,476	5,032,655	102	4,965,853	99	5,328,393	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	2,099,210	1,544,000	74		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他	23,435	843,398	3,599		0		-	
	一般財源	2,825,831	2,645,257	94	4,965,853	188	5,328,393	107	
合計	4,948,476	5,032,655	102	4,965,853	99	5,328,393	107		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成対象単位クラブ数							
指標説明(式)		助成対象単位クラブ数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
クラブ	目標	26	24	92.3	24	100.0	22	91.7	
	実績	22	22	100.0	22	100.0			
指標名2		助成対象クラブ会員数							
指標説明(式)		助成対象クラブ会員数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1400	1400	100.0	1400	100.0	1100	78.6	
	実績	1231	1195	97.1	1058	88.5			

【効率性】

指標名1		クラブ会員一人あたりの費用							
指標説明(式)		事業費/クラブ会員数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2515	2381	94.7	2376	99.8	2848	119.9	
	実績	2557	2645	103.4	2968	112.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	会員数クラブ数とも減少傾向にあり、加入促進を図る必要がある。	4
	市民サービス	高年クラブの活動強化により地域の共助力が向上し、地域住民の福祉向上が期待できる。	
効率性	手段の最適性	活動内容を適宜見直し、高年クラブの魅力アップを図り新規会員の増加を図る必要がある。	3
	執行体制の効率性	事業計画等の作成により、広く会員の意見が反映される仕組みづくりが必要。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

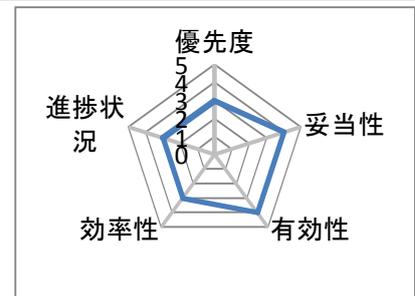
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	会員数・クラブ数の減少。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	高年クラブ活動の有効性を広く周知し、高齢者が生きがいや役割をもてるまちづくりに努める。



配点	32.5
総合評価	22

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302010100	事業の種類	7
年度	28	事務事業名	老人福祉施設整備事業	予算事業名	老人福祉施設整備事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 健康福祉部長寿福祉室	
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	有
実施計画事業名		榑の園耐震診断 養護老人ホーム愛老園エレベーター外改修事業		老人福祉施設整備補助事業	
根拠法規及び関連法規		相生市各種補助金等交付規則・相生市社会福祉法人の助成に関する条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の老人福祉施設・市内高齢者			
	誰(何)を対象として	市内の老人福祉施設・市内高齢者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	第6期介護保健事業計画を実現し、地域の高齢者が住み慣れた地域で生活継続できるよう、質の高い介護サービス基盤の整備を図る。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		老人福祉施設事業者に対し、施設整備等に係る補助金を交付する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	認知症対応型グループホーム	件	0	0	0	1
	小規模多機能型居宅介護事業所	件	0	0	0	0
	養護老人ホーム「愛老園」	件	0	0	0	0

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.060	0.155	258	0.160	103	0.166	104	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	823,413	1,504,964	183	1,554,026	103	1,642,393	106	
	事業費	0	0	-	1,824,000	-	43,189,000	2,368	
	合計	823,413	1,504,964	183	3,378,026	224	44,831,393	1,327	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	823,413	1,504,964	183	3,378,026	224	44,831,393	1,327	
合計	823,413	1,504,964	183	3,378,026	224	44,831,393	1,327		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		地域密着型(介護予防)サービス事業所の整備数							
指標説明(式)		認知症対応型グループホーム + 小規模多機能型居宅介護事業所の整備件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
箇所	目標	0	0	-	2	-	1	50.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

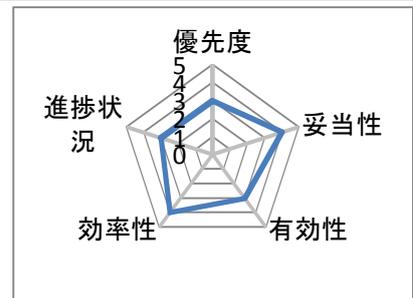
指標名1		市以外の財源の割合							
指標説明(式)		国・県の補助金／総事業費×100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	平成28年度整備に向けて計画どおり公募を行ったが、小規模多機能型サービス事業所サテライト型の応募がなかったため、整備の見通しが立っていない。グループホームは、建設中。椿の園の耐震診断が遅れている。	3
効率性	負担割合の適正化	国(県)の助成制度により、地域密着型に関する補助率は10/10であるため、市の事業費は事務費・人件費のみである。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	小規模多機能型サービス事業所のサテライト型の整備見通しが立たず、また椿の園の耐震診断が当初計画より遅れている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	高齢者の生命の安全確保のため、入所施設である「椿の園」の耐震診断は必要



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	全庁的な施設整備(修繕等)計画が必要

配点	32.5
総合評価	22

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302010200		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	介護保険事業計画策定事務	予算事業名	介護保険事業ほか	優先度	4
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	富田 智美
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定					
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	支援を必要とする高齢者等					
	誰(何)を対象として	支援を必要とする高齢者及び要介護認定者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	(1)健康な高齢者の増進と要介護認定者の進行防止 (2)身近な地域で必要なサービスが提供できる環境整備					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険審議会を開催し、介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画の策定・変更・進行管理を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	審議会委員数	人	11	10	10	11	
	審議会開催数	回	4	3	3	4	

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.732	0.144	20	0.176	122	0.420	239	
	臨時職員	0.044	0.016	36	0.012	75		0	
支出内訳	人件費	6,136,989	1,462,966	24	1,705,870	117	3,648,993	214	
	事業費	14,085,052	22,077,236	157	11,721,145	53	12,787,000	109	
	合計	20,222,041	23,540,202	116	13,427,015	57	16,435,993	122	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	20,222,041	23,540,202	116	13,427,015	57	16,435,993	122	
	合計	20,222,041	23,540,202	116	13,427,015	57	16,435,993	122	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		審議会開催日数							
指標説明(式)		審議会開催日数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0	
	実績	4	3	75.0	3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		高齢者1人当たりの事業費							
指標説明(式)		総事業費／年度末時の高齢者人口							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1489.2	2335.5	156.8	1400	59.9	1595	113.9	
	実績	1992.1	2294	115.2	1298	56.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令から見た 効果	介護保険法に基づく必要な計画策定となっている。	3
効率性	執行体制の 効率性	平成26年度に第6期介護保険事業計画を策定した。平成27年度から平成29年度までの事業を計画に基づき遂行している。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	3

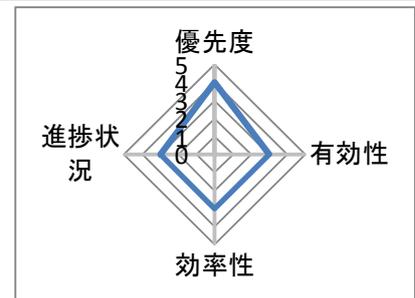
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の 効率性	第7期計画に向けたニーズ把握が必要。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	市民・ケアマネ・事業所向けのアンケートを行い、その分析結果を元に、ワークショップ形式でのヒアリングを行い、意見の反映をしていく。



配点	25
総合評価	17

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302010300		事業の種類	1		
年度	28	事務事業名	介護保険料賦課事業		予算事業名	介護保険事業		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史		担当者名	尾川 真紀
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		介護保険法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の市民						
	誰(何)を対象として	65歳以上の市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な保険料賦課						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険料の賦課、通知及び収納業務を行う。						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画		
	保険料賦課人数	人	10072	10232	10315	10301		

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.677	0.491	73	0.376	77	0.316	84	
	臨時職員	0.120	0.120	100	0.120	100	0.080	67	
支出内訳	人件費	5,895,529	4,321,196	73	3,494,426	81	3,048,913	87	
	事業費	912,034	1,062,541	117	1,041,234	98	980,000	94	
	合計	6,807,563	5,383,737	79	4,535,660	84	4,028,913	89	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,807,563	5,383,737	79	4,535,660	84	4,028,913	89	
	合計	6,807,563	5,383,737	79	4,535,660	84	4,028,913	89	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		高齢化率							
指標説明(式)		高齢者人口/相生市人口							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	33	33	100.0	34	103.0	35	102.9	
	実績	33.33	33.78	101.4	34.24	101.4			
指標名2		保険料(普通徴収)徴収率							
指標説明(式)		普通徴収収納額/普通徴収調定額							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	92.82	91.90	99.0	92.28	100.4			

【効率性】

指標名1		保険料賦課状況(一人当たりの事業費)							
指標説明(式)		事業費/保険料賦課人員							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	130	119	91.5	108	90.8	95	88.0	
	実績	90	103	114.4	101	98.1			
指標名2		口座振替利用者状況							
指標説明(式)		口座振替利用者数/普徴数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	0.2	0.3	150.0	0.3	100.0	0.3	100.0	
	実績	0.28	0.23	82.1	0.25	108.7			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	納入通知書送付時に文書を同封することにより、保険料改正について周知を行った。	5
	組織運営・適正管理	適正・確実に賦課を行った。	
効率性	手段の最適性	65歳到達時の保険証発送時に口座振替の依頼書を同封して、口座振替利用者の増加を目指した。また、口座振替依頼書の様式を他の税目と同じ用紙に変更したことにより、利用者の利便性が向上した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

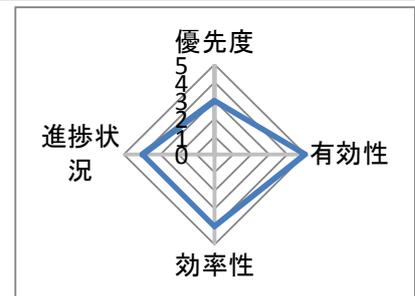
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	給付制限につながらないよう、保険料の徴収率を上げることが課題である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	保険料や保険者証送付時のマフンを改善し、保険料の利用目的や介護保険制度の周知を図ることにより、利用者の納付意識を高め、徴収率の向上を目指す



配点	25
総合評価	19

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302010400		事業の種類	1				
年度	28	事務事業名	介護認定審査会事業		予算事業名	介護保険事業		優先度	3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部長寿福祉室				
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する			担当課長	三浦 貴史		担当者名	岩田 智美	
取組み事項		介護サービスを充実する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規		介護保険法								
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護を必要とする高齢者等								
	誰(何)を対象として	介護を必要とする高齢者等								
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護認定審査の適正な実施								

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険認定審査会を開催し、要介護判定を行い、要介護認定結果を通知する。							
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画			
	要介護認定調査件数	件	1938	1962	1923	2160			
	要介護認定審査件数	件	1916	1930	1860	2160			

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.824	0.860	104	1.044	121	0.784	75	
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.200	100	0.320	160	
支出内訳	人件費	7,228,885	7,283,574	101	8,736,366	120	7,410,673	85	
	事業費	2,541,500	2,566,080	101	2,499,180	97	2,585,000	103	
	合計	9,770,385	9,849,654	101	11,235,546	114	9,995,673	89	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,770,385	9,849,654	101	11,235,546	114	9,995,673	89	
	合計	9,770,385	9,849,654	101	11,235,546	114	9,995,673	89	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		平均介護認定事務処理日数							
指標説明(式)		延べ介護認定事務処理日数 / 認定審査件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
日	目標	30	30	100.0	30	100.0	30	100.0	
	実績	35	31	88.6	30	96.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		認定調査状況(1件当たりの調査費)							
指標説明(式)		(目)認定調査等費/調査件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	8072	8025	99.4	8550	106.5	8500	99.4	
	実績	8044	8402	104.5	8100	96.4			

指標名2		認定審査状況(1件当たりの審査費)							
指標説明(式)		(目)介護認定審査会費/審査件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1275	1277	100.2	1164	91.2	1197	102.8	
	実績	1326	1350	101.8	1344	99.6			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	申請から認定までの業務を概ね適正に処理できている。処理日数が目標日数をこえたケースもあるため処理方法など今後も検討が必要。	4
	成果の向上	申請時期や適正な申請について適宜窓口での案内を行っている。	
効率性	執行体制の効率性	平成27年度に引き続き、調査員の確保により調査の体制は安定していた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

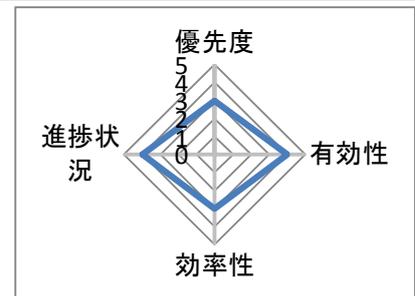
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	資料が整わず、申請から認定までに期間がかかるケースがみられた。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	早い段階で医療機関に連絡をする等、早期提出にむけての調整を行う。



配点	25
総合評価	17

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

事業番号		020302010500		事業の種類		1	
年度	28	事務事業名	認定調査事業	予算事業名	介護保険事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	岩田 智美
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護を必要とする高齢者等					
	誰(何)を対象として	介護を必要とする高齢者等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護認定調査の適正な実施					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		要介護認定申請を受け、要介護認定調査を実施する					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	介護認定調査員	人	9	9	9	9	
	要介護認定調査	件	1938	1962	1923	2160	

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.053	0.120	226	0.052	43	0.080	154	
	臨時職員	0.600	0.592	99	0.632	107	0.440	70	
支出内訳	人件費	2,227,177	2,734,342	123	2,387,870	87	2,181,353	91	
	事業費	15,588,742	15,372,472	99	15,892,425	103	18,361,000	116	
	合計	17,815,919	18,106,814	102	18,280,295	101	20,542,353	112	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	17,815,919	18,106,814	102	18,280,295	101	20,542,353	112	
	合計	17,815,919	18,106,814	102	18,280,295	101	20,542,353	112	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		介護認定調査件数							
指標説明(式)		介護認定調査件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2062	2054	99.6	2160	105.2	2160	100.0	
	実績	1938	1962	101.2	1923	98.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		認定調査状況(1件当たりの調査費)							
指標説明(式)		(目)認定調査等費/調査件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	8071	8026	99.4	8550	106.5	8500	99.4	
	実績	8044	8402	104.5	8100	96.4			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	申請から調査までの業務を概ね適正に処理出来ている。人員確保により処理日数の短縮が図れている。	4
	成果の向上	新人調査員の研修受講、月一回の会議において注意事項の確認、調査員間での内容確認作業の実施等により、より適正な調査となっている。	
効率性	執行体制の効率性	平成27年度に引き続き、調査員の確保により調査の体制は安定していた。	4
	コストの節減	適切な申請時期の案内等を行うことにより、不要な申請件数の削減につなげた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

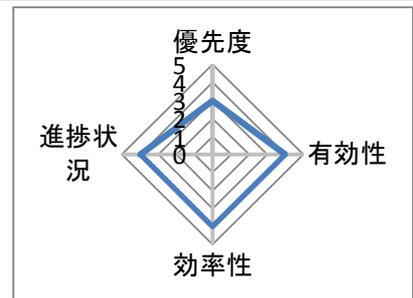
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	状態が安定していない等、調査時期が適切でない場合がみられた。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	申請時変更があった場合は必ず連絡をいれてもらう等、適切な調査を実施することができるよう周知を行う。



配点	25
総合評価	18

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302010600		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	介護保険給付事務		予算事業名	介護保険事業ほか	
優先度	3		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当課長	三浦 貴史		担当者名	古川 由紀
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
取組み事項	介護サービスを充実する						
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	介護保険法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護サービス利用者					
	誰(何)を対象として	介護サービス利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護状態となった者が有する能力に応じた、必要な介護サービスの利用					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要	介護保険給付情報を管理し、介護サービス費等を支給する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	認定者数	人	1812	1851	1882	1889
	保険給付費総額	円	2494431447	2549960312	2512939149	2674311000

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.528	0.248	47	0.622	251	0.320	51	
	臨時職員			-		-	0.160	-	
支出内訳	人件費	4,449,477	2,200,790	49	5,035,196	229	3,302,033	66	
	事業費	2,494,431,447	2,549,960,312	102	2,512,939,149	99	2,674,311,000	106	
	合計	2,498,880,924	2,552,161,102	102	2,517,974,345	99	2,677,613,033	106	
財源内訳	国庫支出金	573,092,667	585,739,645	102	629,695,785	108	652,709,000	104	
	県支出金	372,573,000	374,937,000	101	384,620,000	103	417,957,000	109	
	市債			-		-		-	
	その他	1,222,620,147	1,267,256,481	104	711,213,000	56	775,995,000	109	
	一般財源	330,595,110	324,227,976	98	792,445,560	244	830,952,033	105	
	合計	2,498,880,924	2,552,161,102	102	2,517,974,345	99	2,677,613,033	106	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1	1人当たり保険給付費総額/年間								
指標説明(式)	保険給付費総額(=事業費)/認定者数(年度末)								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1401631	1458476	104.1	1433166	98.3	1415728	98.8	
	実績	1376617	1377612	100.1	1335249	96.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

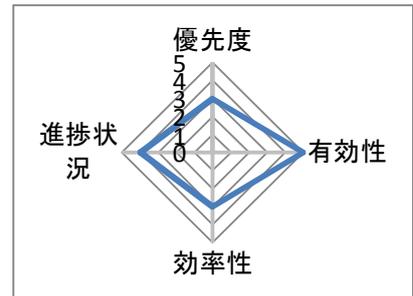
指標名1		高齢者一人当たり事業費							
指標説明(式)		事業費総額／年度末時の高齢者人口							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	264,959	260,866	98.5	259,258	99.4	259616	100.1	
	実績	245,732	248,509	101.1	242960	97.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	要介護認定者、給付費とも事業計画の計画値の範囲内で推移しており、適正な制度管理を行っている。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	介護保険法に基づき適正な介護サービス費の支給を行った。	
効率性	コストの節減	介護保険に係る制度周知や各種サービス事業所の整備、高齢化率の増加等により事業費は増加しているが、早期より介護サービスを利用される方の増加により一人当たりの事業費は減少している。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	事業所への実地指導や監査、ケアプランチェック等の適正化を行い、介護給付費の適正化を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	地域密着型サービスなど市が指定権者である事業所が多くなり、自己点検シートを導入するなどさらに細やかな指導を行っていく。

配点	25
総合評価	18

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302010700		事業の種類	4		
年度	28	事務事業名	家族介護用品支給事業		予算事業名	家族介護用品支給事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	尾川 真紀	
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市家族介護用品支給事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅の寝たきりや認知症の高齢者を介護している家族						
	誰(何)を対象として	要介護4相当以上の寝たきりや認知症の高齢者を介護している市民税非課税世帯に該当する家族						
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護用品を支給し、当該介護者又は寝たきり高齢者等の精神的、経済的負担を軽減						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		紙おむつ尿取りパットの介護用品代を年10万円の範囲内で支給する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	支給人数	人	15	12	9	13	

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.048	0.020	42	0.080	400	0.060	75	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	730,437	494,894	68	951,226	192	804,993	85	
	事業費	814,612	759,480	93	451,536	59	1,300,000	288	
	合計	1,545,049	1,254,374	81	1,402,762	112	2,104,993	150	
財源内訳	国庫支出金	321,771	296,197	92	176,099	59	507,000	288	
	県支出金	160,885	148,099	92	88,050	59	253,500	288	
	市債			-		-		-	
	その他	171,068	167,086	98	99,337	59	286,000	288	
	一般財源	891,325	642,992	72	1,039,276	162	1,058,493	102	
	合計	1,545,049	1,254,374	81	1,402,762	112	2,104,993	150	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		支給人数							
指標説明(式)		支給人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	8	15	187.5	15	100.0	13	86.7	
	実績	15	12	80.0	9	75.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

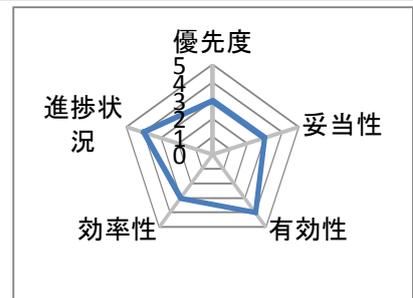
指標名1		人数あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費／支給人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	100000	100000	100.0	100000	100.0	100000	100.0	
	実績	54307	63290	116.5	50170	79.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市民税非課税世帯の内、要介護4相当以上の寝たきり高齢者等を介護している世帯は多くないので、支給者数は少ない	4
	上位施策への貢献度	在宅生活の維持が図られる事によって、高齢者にとって住み慣れた地域での生活継続が、市にとっては施設整備を抑制し保険料の軽減が図られる	
効率性	手段の最適性	市が発行した給付券との引き換えにより納品する仕組みにより、不正受給の防止が図られている	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	周知を継続し、利用者の増加を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	広報誌等への掲載、ケアマネ、民生委員等への周知を図り、利用者の増加・維持を図る。

配点	32.5
総合評価	21.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302010800		事業の種類	4		
年度	28	事務事業名	家族介護慰労金支給事業		予算事業名	家族介護慰労金支給事業 優先度 3		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史		担当者名	尾川 真紀
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市家族介護慰労金支給事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護保険サービスを使わずに、在宅で寝たきり相当の高齢者を介護している家族						
	誰(何)を対象として	過去1年間介護保険給付のサービスを利用することなく(7日以内のショートステイは除く)要介護4相当以上の高齢者を介護している家族						
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者及び介護者に慰労金を支給することで介護にかかる精神的・経済的負担を軽減するとともに、家族介護が可能な家庭はできるだけそれを促すことで介護保険給付の軽減を図る。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		家族介護慰労金年12万円支給する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	支給人数	人	1	2	2	2	

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.004	0.024	600	0.020	83	0.012	60	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	389,525	524,822	135	499,126	95	425,793	85	
	事業費	120,000	240,000	200	240,000	100	240,000	100	
	合計	509,525	764,822	150	739,126	97	665,793	90	
財源内訳	国庫支出金		93,600	-	93,600	100	93,600	100	
	県支出金		46,800	-	46,800	100	46,800	100	
	市債			-		-		-	
	その他		52,800	-	52,800	100	52,800	100	
	一般財源	509,525	571,622	112	545,926	96	472,593	87	
	合計	509,525	764,822	150	739,126	97	665,793	90	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		支給人数							
指標説明(式)		支給人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2	2	100.0	1	50.0	2	200.0	
	実績	1	2	200.0	2	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		人数あたりの事業コスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費)÷支給人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	566,963	352,137	62.1	593,606	168.6	332897	56.1	
	実績	509,525	382,411	75.1	369563	96.6			

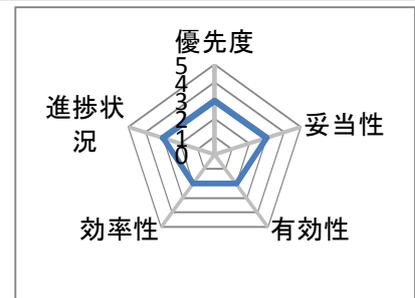
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	在宅生活の支えとなるほどの補助額を出せるわけでは無く、施設整備・保険料の抑制にまで効果があるかは判断が難しい。	2
	成果の向上	支給実績の向上を図る必要がある反面、慰労金を得るために必要な介護が疎かにならないよう配慮する必要がある。	
効率性	手段の最適性	家族介護を促進するために、介護保険サービスを利用しなかった期間(1年間)と医療機関への入院期間を勘案しているが、要介護4以上の者が1年間介護サービスを使わないケースはまれである。	2
	負担割合の適正化	上記期間の検討と合わせ、要介護4以上の者の1年間の介護給付費などから支給額を検討する必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	効率性について検討が困難である。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	制度利用者が少ない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	更なる制度の周知を図る。

配点	32.5
総合評価	17.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302010900	事業の種類	4
年度	28	事務事業名	成年後見制度利用支援事業	予算事業名	成年後見制度利用支援事業 優先度
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	4
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史
取組み事項		介護サービスを充実する		担当者名	尾川 真紀
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定
				無	無
根拠法規及び関連法規		相生市成年後見制度利用支援事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	法に規定する後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない方			
	誰(何)を対象として	法に規定する後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない方			
	意図(どのような状態にしたいのか)	後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない場合に、市長が審判の請求を家庭裁判所に行うとともに、成年後見人等に対する報酬の全部			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない場合に、市長が審判の請求を家庭裁判所に行うとともに、成年後見人等に対する報酬の全部または一部を助成することにより、被成年後見人等の生活を支援する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	市長申立件数	件	0	0	0	4

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.080	0.036	45	0.112	311	0.052	46	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	978,373	614,606	63	1,192,346	194	741,793	62	
	事業費	0	216,000	-	0	0	1,133,000	-	
	合計	978,373	830,606	85	1,192,346	144	1,874,793	157	
財源内訳	国庫支出金		84,240	-		0	441,870	-	
	県支出金		42,120	-		0	220,935	-	
	市債			-		-		-	
	その他		47,520	-		0	249,260	-	
	一般財源	978,373	656,726	67	1,192,346	182	962,728	81	
	合計	978,373	830,606	85	1,192,346	144	1,874,793	157	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		市長申立件数							
指標説明(式)		市長申立件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3	3	100.0	3	100.0	4	133.3	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2		成年後見制度利用人数							
指標説明(式)		成年後見制度利用人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	3	2	66.7	2	100.0	2	100.0	
	実績	1	1	100.0	0	0.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

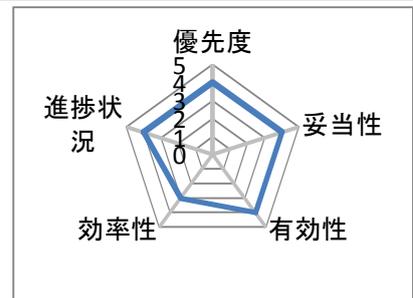
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	報酬の全部または一部の助成を受けなければ後見等の利用が困難な者を保護する事もできる事業であり、必要である。	4
効率性	手段の最適性	助成の対象者の状況をよく把握し、制度の利用について検討する必要がある。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民へ制度の周知を行いながら、後見等の相談等に対応。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	広域化に伴い、効率的な事務を目指す。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	西播磨4市3町共同での西播磨成年後見支援センターの周知に努め、後見制度のさらなる普及を図る。

配点	32.5
総合評価	25

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302011000		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	介護給付費等費用適正化事業		予算事業名	介護給付費等費用適正化事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	古川 由紀
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な介護サービス提供体制の確保と介護サービスの質の向上					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		介護サービスの利用状況の周知、確認を目的として介護給付費通知を送付する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	給付費通知	回	3	3	3	3	
	ケアプラン点検	回	-	3	1	0	

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.080	0.124	155	0.164	132	0.140	85	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	978,373	1,273,022	130	1,584,166	124	1,436,993	91	
	事業費	476,964	395,983	83	424,620	107	597,000	141	
	合計	1,455,337	1,669,005	115	2,008,786	120	2,033,993	101	
財源内訳	国庫支出金	188,400	154,433	82	165,601	107	167,160	101	
	県支出金	94,200	77,216	82	82,800	107	116,415	141	
	市債			-		-		-	
	その他	100,162	87,116	87	118,894	136	167,160	141	
	一般財源	1,072,575	1,350,240	126	1,641,491	122	1,583,258	96	
	合計	1,455,337	1,669,005	115	2,008,786	120	2,033,993	101	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付費通知1件当たりに対する給付費総額							
指標説明(式)		給付費総額/給付費通知発送料							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	9499	8794	92.6	8278	94.1	7738	93.5	
	実績	9139	8444	92.4	12095	143.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	国保連合会のモデル事業として「ケアプラン点検」を実施し、介護サービスの質の向上を図るとともに、指導監査等に係る体制整備などを行う。	4
	市民サービス	通知を送付することによって、実際の給付費がどれだけかかっているのかを確認してもらえ、給付費の抑制を促すことにつながっている。	
効率性	手段の最適性	介護保険制度について、実際に介護給付を受けている全ての対象者に対し通知を送付することで、制度の周知ができています。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりである。	4

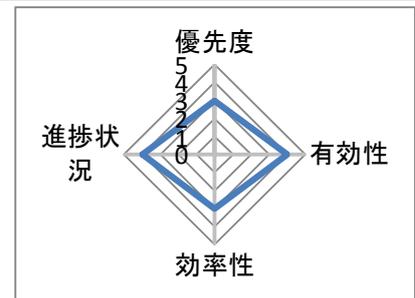
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	給付費通知は定期的に送っているが、介護給付費の適正化にまで至っていない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	定期的に送付している給付費通知に、適正化を促すチラシや制度案内等を同封する。



配点	25
総合評価	17

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302020100		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	しあわせ基金事業		予算事業名	しあわせ基金事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史		担当者名	古川 由紀
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市しあわせ基金条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者の福祉の向上					
	誰(何)を対象として	社会福祉協議会、ボランティア団体、高年クラブ連合会					
	意図(どのような状態にしたいのか)	社会福祉協議会、ボランティア団体、高年クラブ連合会の高齢者在宅福祉の向上事業に対して補助金を交付する。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		社会福祉協議会、ボランティア協会及び高年クラブ連合会の実施する高齢者等送迎サービス、在宅介護者の会への支援事業等、在宅高齢者への支援事業に補助金を交付する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	リフトバス派遣回数	回	647	613	532	600	
	在宅介護者支援事業実施回数	回	23	23	22	22	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.052	0.072	138	0.072	100	0.092	128	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	761,429	883,958	116	890,946	101	1,057,793	119	
	事業費	1,250,000	1,462,000	117	1,438,000	98	1,357,000	94	
	合計	2,011,429	2,345,958	117	2,328,946	99	2,414,793	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	1,197,320	1,462,000	122	1,438,000	98	1,356,000	94	
	一般財源	814,109	883,958	109	890,946	101	1,058,793	119	
合計	2,011,429	2,345,958	117	2,328,946	99	2,414,793	104		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		活動実績							
指標説明(式)		リフトバス派遣回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	700	700	100.0	700	100.0	600	85.7	
	実績	647	613	94.7	532	86.8			
指標名2		活動実績							
指標説明(式)		在宅介護者支援事業回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	22	22	100.0	22	100.0	22	100.0	
	実績	23	23	100.0	22	95.7			

【効率性】

指標名1		活動実績の1件当たり補助金コスト(リフトバス)							
指標説明(式)		支出事業費÷リフトバス派遣回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1507	1000	66.4	857	85.7	1800	210.0	
	実績	1289	856	66.4	1835	214.4			

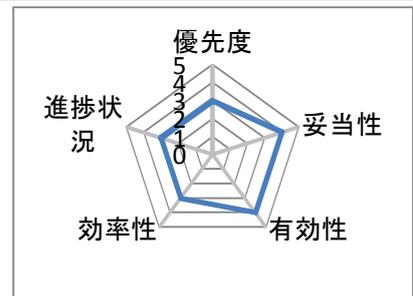
指標名2		活動実績の1件当たり補助金コスト(在宅介護者支援事業)							
指標説明(式)		支出事業費÷在宅介護者支援事業							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7500	10750	143.3	6272	58.3	8500	135.5	
	実績	7014	7696	109.7	8371	108.8			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	平成28年度は、社協に対し、前年度同様の補助を行ったが、社会情勢等の変化に伴い市民ニーズも変化するため、適宜事業内容の見直しを図る必要がある。	4
効率性	手段の最適性	基金の運用益が事業費の一部にあてられている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	社会情勢の変化を鑑み、市民ニーズ等も把握し、補助団体と協力し、有効な事業を展開していく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	今後も事業の内容を適宜見直し検討していく。

配点	32.5
総合評価	22

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302020300		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	高齢者ホームヘルプサービス事業		予算事業名	高齢者ホームヘルプサービス事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	室井 良太	
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	相生市高齢者ホームヘルプサービス事業運営要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	日常生活を営むのに支障のある自立の在宅高齢者					
	誰(何)を対象として	日常生活の手助けを必要としながら手助けを得られていない高齢者(病気やけが等一時的な場合に限る)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	日常生活を営むのに支障のある高齢者が日常家事の手助けを受けとることにより自宅で自立した生活が営まれるようにする					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要	週1回1時間程度、ホームヘルパーが対象者宅へ出向き、家事援助を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	延べ利用者数	人	24	24	24	廃止
	延べ利用時間	時	71	69	75	廃止

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.052	0.080	154	0.080	100		0	
	臨時職員	0.004	0.004	100	0.004	100		0	
支出内訳	人件費	771,149	953,890	124	961,654	101	330,993	34	
	事業費	111,048	105,570	95	117,689	111		0	
	合計	882,197	1,059,460	120	1,079,343	102	330,993	31	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	14,200	13,800	97		0		-	
	一般財源	867,997	1,045,660	120	1,079,343	103	330,993	31	
合計	882,197	1,059,460	120	1,079,343	102	330,993	31		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ利用者数							
指標説明(式)		延べ利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	36	36	100.0	36	100.0	廃止	-	
	実績	24	24	100.0	24	100.0			
指標名2		延べ利用時間数							
指標説明(式)		延べ利用時間数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
時	目標	120	156	130.0	156	100.0	廃止	-	
	実績	71	69	97.2	75	108.7			

【効率性】

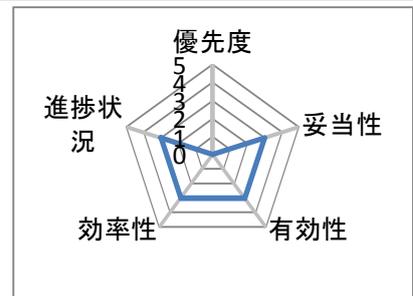
指標名1		利用1時間当たりの事業コスト							
指標説明(式)		総事業費(人件費含む)／延べ利用時間							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	6495	7666	118.0	7679	100.2	廃止	-	
	実績	12425	15354	123.6	14391	93.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	介護認定を受けた市民は介護保険サービスに移行するために、利用者・利用回数が減少傾向である。	3
	市民サービス	ひとり暮らし高齢者が増加傾向にある中、介護認定は受けていないが病気や怪我等で、一時的にホームヘルプサービスが必要な市民にとって、有効なサービスである。	
効率性	コストの節減	介護保険給付基本単位を基に、適正な委託料・利用者負担金の設定に努める。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	新総合事業開始に伴い、事業を見直す必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	新総合事業への移行に伴い、廃止する。

配点	32.5
総合評価	13.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302020400		事業の種類	1		
年度	28	事務事業名	老人医療費助成事業		予算事業名	老人医療費助成事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する			担当課長	大西 博之	担当者名	木下 卓巳
取組み事項		介護予防などを推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		老人医療費助成事業						
根拠法規及び関連法規		福祉医療費等助成条例、福祉医療費等助成条例施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	高齢者(65歳~69歳)の老人医療費助成対象者						
	誰(何)を対象として	高齢者(65歳~69歳)の老人医療費助成対象者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	該当者に適切な医療を確保し、健康を保ち、健やかに暮らす						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		老人(65歳~69歳)の医療費の一部を助成する						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画		
	助成費	円	16,295,069	20,806,245	18,805,557	24,000,000		
	助成件数	件	6,079	6,850	7,599	8,579		
	平均受給者数	人	374	418	470	520		

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計						事業費単位:円
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.286	0.262	92	0.369	141	0.395	107	
	臨時職員	0.026	0.018	69	0.041	228	0.044	107	
支出内訳	人件費	2,637,641	2,350,880	89	3,235,728	138	3,573,329	110	
	事業費	16,295,069	20,806,245	128	18,805,557	90	24,000,000	128	
	合計	18,932,710	23,157,125	122	22,041,285	95	27,573,329	125	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	4,801,713	6,074,266	127	5,270,914	87	5,900,000	112	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	14,130,997	17,082,859	121	16,770,371	98	21,673,329	129	
合計	18,932,710	23,157,125	122	22,041,285	95	27,573,329	125		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの老人医療費助成							
指標説明(式)		助成費/平均受給者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	53,381	48,000	89.9	53000	110.4	46154	87.1	
	実績	43,570	49,776	114.2	40,012	80.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		老人医療費助成1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	380	437	115.0	401	91.8	417	104.0	
	実績	434	343	79.0	426	124.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	65歳から69歳の老人に対し、医療費の一部を助成することにより、これらの者の福祉の増進を図ることができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	ほぼ横ばいである。	4
	執行体制の効率性	年齢到達で該当する者等に対して、申請案内をするなど迅速、適正な事務処理を行うことができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	65歳～69歳で、住民税非課税世帯の者については、区分に応じて福祉医療費を支給している。	4

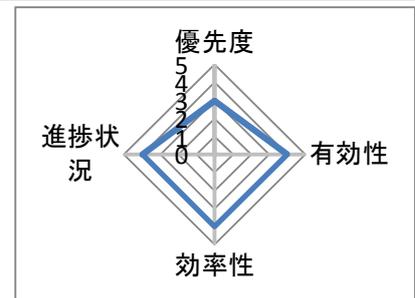
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	現下の情勢、財政事情を踏まえつつ、事業の見直しを図る。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	市単独事業分(所得制限緩和分)を廃止する旨(老人医療費助成事業の廃止、高齢期移行助成事業の新設含む。)など、事業の周知を図る。



配点	25
総合評価	18

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302020500		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	鍼灸マッサージ施療費助成事業		予算事業名	鍼灸マッサージ施療費助成事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	大西 博之		担当者名 木下 卓巳
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人鍼灸・マッサージ等施療費助成規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の住民					
	誰(何)を対象として	65歳以上の鍼灸・マッサージ等施療利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	鍼灸・マッサージ等施療費の一部を助成することにより、健康を保ち、健やかに暮らす					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		65歳以上の鍼灸マッサージ施療利用者に施療費の一部を助成				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	助成費	円	3,344,000	2,795,000	2,517,000	3,360,000
	助成回数	回	3,344	2,795	2,517	3,360
	申請者数	人	538	483	469	600
	対象者数	人	10,151	10,261	10,343	10,343

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.024	0.041	171	0.043	105	0.049	114	
	臨時職員	0.026	0.009	35	0.005	56	0.006	120	
支出内訳	人件費	607,665	674,687	111	685,466	102	734,707	107	
	事業費	3,344,000	2,795,000	84	2,517,000	90	3,360,000	133	
	合計	3,951,665	3,469,687	88	3,202,466	92	4,094,707	128	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,951,665	3,469,687	88	3,202,466	92	4,094,707	128	
	合計	3,951,665	3,469,687	88	3,202,466	92	4,094,707	128	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの鍼灸・マッサージ施療助成回数							
指標説明(式)		受診回数/申請人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	6.1	6.1	100.0	6.1	100.0	5.6	91.8	
	実績	6.2	5.8	93.5	5.4	93.1			
指標名2		対象者にかかる申請率							
指標説明(式)		申請人数/対象者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	6.1	5.9	96.7	5.8	98.3	5.8	100.0	
	実績	5.3	4.7	88.7	4.5	95.7			

【効率性】

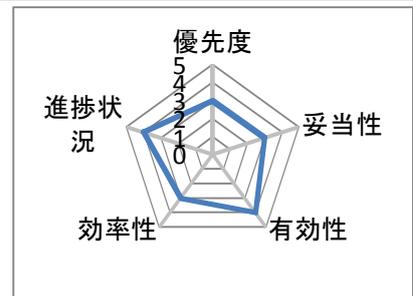
指標名1		鍼灸・マッサージ施療助成1回当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費)/回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,154	1,153	99.9	1183	102.6	1219	103.0	
	実績	1,182	1241	105.0	1272	102.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者に占める申請者の割合、申請者1人当りの助成回数はほぼ横ばいであり、適正な助成を行った。	4
	市民サービス	施療費を助成することにより、経済的負担を軽減することができた。	
効率性	コストの節減	ほぼ横ばいである。	3
	手段の最適性	申請時に資格確認を行い、利用者の資格を適正に把握している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	第3期行財政健全化計画に基づいた年齢要件の引き上げ、その周知を行うなど、概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民ニーズ及び事業の担う役割を踏まえつつ、事業を継続する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	平成30年度以後の年齢要件の引き上げなど、事業の周知を図る。

配点	32.5
総合評価	21.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302020600		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	高齢重度障害者医療費助成事業		予算事業名	高齢重度障害者医療費助成事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	大西 博之		担当者名 木下 卓巳
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		高齢重度障害者医療費助成要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	高齢重度障害者医療費助成対象者					
	誰(何)を対象として	高齢重度障害者医療費助成対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	該当者に適切な医療を確保し、健康を保ち、健やかに暮らす					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢かつ重度の障害があると認定された者に対し、医療費の一部を高齢重度障害者医療費として助成する					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	助成費	円	28,780,285	27,952,238	28,602,005	30,000,000	
	助成件数	件	7,100	7,086	7,427	7,351	
	平均受給者数	人	310	312	313	320	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.251	0.185	74	0.371	201	0.368	99	
	臨時職員	0.026	0.013	50	0.039	300	0.038	97	
支出内訳	人件費	2,366,461	1,762,171	74	3,245,584	184	3,343,415	103	
	事業費	28,780,285	27,952,238	97	28,602,005	102	30,000,000	105	
	合計	31,146,746	29,714,409	95	31,847,589	107	33,343,415	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	12,200,493	11,660,618	96	11,646,593	100	12,800,000	110	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	18,946,253	18,053,791	95	20,200,996	112	20,543,415	102	
合計	31,146,746	29,714,409	95	31,847,589	107	33,343,415	105		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの高齢重度障害者医療助成							
指標説明(式)		助成費/平均受給者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	102,754	103,385	100.6	93,957	90.9	93,750	99.8	
	実績	92,840	89,591	96.5	91,380	102.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		高齢重度障害者医療費助成1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	285	302	106.0	236	78.1	455	192.8	
	実績	333	249	74.8	437	175.5			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会的、経済的に弱い立場の高齢重度障害者に対し、適正な医療費助成を行うことにより、目標が達成できた。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	ほぼ横ばいである。	3
	執行体制の効率性	事業実施にあたり、迅速、適正な事務処理体制を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	高齢重度障害者の疾病等について医療保険給付が行われた場合において、一部負担金を控除した額を支給している。(所得制限あり。)	4

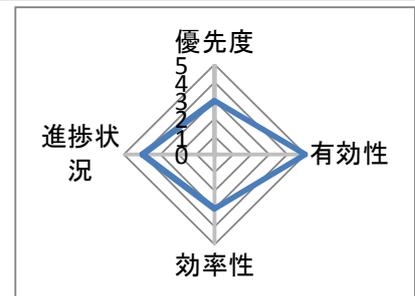
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	現下の情勢、財政事情を踏まえつつ、事業を継続する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	事前に、年齢到達による高齢重度障害者医療費受給者証の交付申請(重度障害者医療費受給者証からの変更)を勧奨する。



配点	25
総合評価	18

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302020800		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	高齢者特別給付金支給事業		予算事業名	高齢者特別給付金支給事業 優先度	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	大西 博之		
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定
実施計画事業名						無	
根拠法規及び関連法規		相生市外国籍高齢者等福祉給付金支給要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	国民年金受給権のない在日外国籍高齢者等					
	誰(何)を対象として	国民年金受給権のない在日外国籍高齢者等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	福祉給付金を支給することにより、その生活の安定と福祉の向上を目指す					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		国民年金制度上、国民年金の受給資格のない在日外国籍高齢者等に対し、福祉給付金を支給する					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	無年金外国籍高齢者等福祉給付金事務	人(延べ)	0	0	0	0	

## 3 投入資源

インプット指標		会計区分			一般会計				備考
		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.018	0.016	89	0.000	0	0.004	-	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	497,997	464,966	93	348,426	75	362,593	104	
	事業費	0	0	-	0	-	-	-	
	合計	497,997	464,966	93	348,426	75	362,593	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	497,997	464,966	93	348,426	75	362,593	104	
合計	497,997	464,966	93	348,426	75	362,593	104		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付率							
指標説明(式)		受給対象者に対する給付率 $\frac{\text{受給対象者延べ人数}}{\text{給付者延べ人数}} \times 100$							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		受給者1人当たりの事務処理時間							
指標説明(式)		事務処理時間数／受給者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
時間	目標	35	35	100.0	23	65.7	—	—	
	実績	—	—	—	—	—	—	—	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	対象者なし。	3
	成果目標(改善)達成度	対象者なし。	
効率性	コストの節減	対象者なし。	3
	執行体制の効率性	対象者なし。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	対象者なし。	3

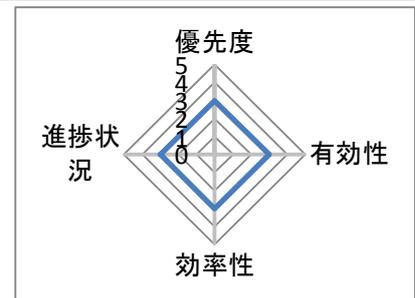
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	在日外国籍高齢者等の無年金問題は、本来、国の責任において実施すべき施策である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	関係機関を通じて、国に代替施策の実施を要望していく。



配点	25
総合評価	15

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302020900	事業の種類	4
年度	28	事務事業名	老人短期入所運営事業	予算事業名	老人短期入所運営事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史
取組み事項		介護予防などを推進する		担当者名	古川 由紀
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		相生市老人短期入所事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者			
	誰(何)を対象として	身体的、社会的な理由で一時的にホームでの援護が必要な高齢者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活習慣等の指導及び体調調整を行う			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		身体的、社会的な理由で一時的にホームでの援護が必要な高齢者に生活習慣等の指導及び体調調整を行う				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	利用人数	人	1	4	3	5
	短期入所日数	日	31	69	22	50

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.032	0.140	438	0.032	23	0.048	150	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	606,469	1,392,734	230	589,546	42	710,193	120	
	事業費	127,130	276,610	218	110,266	40	235,000	213	
	合計	733,599	1,669,344	228	699,812	42	945,193	135	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	12,090	26,910	223	14,660	54	32,500	222	
	一般財源	721,509	1,642,434	228	685,152	42	912,693	133	
合計	733,599	1,669,344	228	699,812	42	945,193	135		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用人数							
指標説明(式)		利用人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	1	4	400.0	2	50.0			
指標名2		短期入所日数							
指標説明(式)		短期入所日数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
日	目標	50	50	100.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	31	69	222.6	22	31.9			

【効率性】

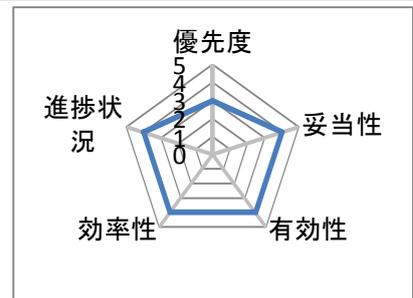
指標名1		1人あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費/利用人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	40,600	40,600	100.0	47,000	115.8	47000	100.0	
	実績	127,130	69,152	54.4	36755	53.2			
指標名2		1日当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/短期入所日数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4,060	4,060	100.0	4,700	115.8	4700	100.0	
	実績	4,101	4,008	97.7	1598	39.9			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	養護老人ホームの空床を利用してサービス提供する事業で、入所者の入院等例え一時的にせよ空床が生じない限り利用に結びつかない。	4
	成果の向上	虐待等やむを得ない場合の”つなぎ”としても活用できる。	
効率性	手段の最適性	高齢者虐待における世帯分離を図る手段として有効であり、措置者たる市が事業実施する必要がある。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	養護老人ホームとの連携の必要性



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	平成28年度より価格の改定を行った。送迎時の加算を取り入れたことにより、施設対応が可能となった。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302021000	事業の種類	4
年度	28	事務事業名	高齢者デイサービス運営事業	予算事業名	高齢者デイサービス運営事業 優先度
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 健康福祉部長寿福祉室	
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史
取組み事項		介護予防などを推進する		担当者名	室井 良太
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		相生市高齢者デイサービス事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	家に閉じこもりがちな高齢者			
	誰(何)を対象として	家に閉じこもりがちな高齢者で要介護・要支援の認定を受けていない者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	社会的孤立感を解消し、要介護状態に陥るのを防止する。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		デイサービス事業所又はミニデイサービス事業所において、対象者に健康チェック・入浴サービス・給食サービス等の提供を通して、高齢者の在宅生活を支援する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	デイ延利用者数	人	172	107	74	廃止
	デイ延利用回数	回	336	204	135	廃止
	ミニデイ延利用者数	人	167	134	88	廃止
	ミニデイ延利用回数	回	233	191	120	廃止

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.012		0		-		-	
	臨時職員	0.004	0.004	100	0.004	100		0	
支出内訳	人件費	461,229	355,330	77	358,854	101	330,993	92	
	事業費	1,510,140	1,016,210	67	661,340	65		0	
	合計	1,971,369	1,371,540	70	1,020,194	74	330,993	32	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,971,369	1,371,540	70	1,020,194	74	330,993	32	
	合計	1,971,369	1,371,540	70	1,020,194	74	330,993	32	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ利用者数の増減							
指標説明(式)		延べ利用者数(デイ・ミニデイ)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	550	380	69.1	270	71.1	廃止	-	
	実績	336	241	71.7	241	100.0			
指標名2		延べ利用回数の増減							
指標説明(式)		延べ利用回数(デイ・ミニデイ)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	1000	800	80.0	840	105.0	廃止	-	
	実績	569	395	69.4	255	64.6			

【効率性】

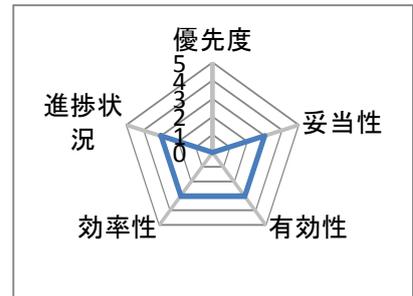
指標名1		利用1回あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総費用／延べ利用回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3809	3970	104.2	3100	78.1	廃止	-	
	実績	3464	3472	100.2	4001	115.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	認定を受けた市民は、介護保険サービスに移行するため、利用者・回数ともに減少傾向にある。	3
	市民サービス	閉じこもり防止によって、心身の健全化が図れ、高齢者が要介護の状態に陥る危険性を軽減できる。	
効率性	コストの節減	介護保険給付基本単位を基に、適正な委託料・利用負担金の設定に努めている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	申請数及び利用回数の減少が続いているため事業の検討が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	新総合事業への移行に伴い、廃止する。

配点	32.5
総合評価	13.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302021100		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	高齢者日常生活用具給付等事業		予算事業名	高齢者日常生活用具給付等事業	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	尾川 真紀
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市老人日常生活用具給付等事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者					
	誰(何)を対象として	市民税非課税の65歳以上の高齢者のみの世帯で、火の始末が特に不安な者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	電磁調理器や自動消火器を給付等し、在宅生活を支援する					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		防火等に配慮の必要な対象者に対し、電磁調理器は1万6千円、自動消火器は2万6千円を限度に給付し、在宅生活を支援する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	給付人数	人	5	2	2	廃止	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.036	0.004	11	0.040	1,000	0.040	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	637,461	375,182	59	649,826	173	646,993	100	
	事業費	66,028	33,640	51	21,362	64		0	
	合計	703,489	408,822	58	671,188	164	646,993	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	703,489	408,822	58	671,188	164	646,993	96	
合計	703,489	408,822	58	671,188	164	646,993	96		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付人数							
指標説明(式)		給付人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	4	4	100.0	4	100.0	廃止	-	
	実績	5	2	40.0	2	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

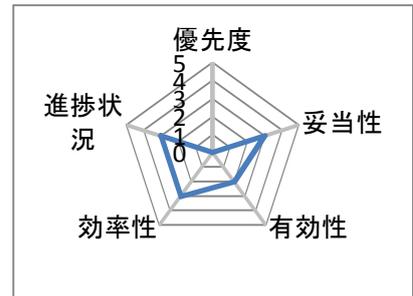
指標名1		人数あたりのコスト							
指標説明(式)		総経費/給付人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	211,981	178,359	84.1	181,192	101.6	廃止	-	
	実績	140,698	204,411	145.3	335,594	164.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	周知等行っているが、利用件数が少ない。	2
効率性	手段の最適性	電磁調理器の給付は有効であるが、ガスを遣いなれた高齢者には抵抗がある上、ガス使用の危険性の認識が薄い高齢者が少なくない。給付のみならず、抵抗感の除去や危険性の認識を高める必要がある。	3
	執行体制の効率性	家族、ケアマネージャー、民生委員、業者等関係者に協力してもらい、申請から取り付けまでの調整を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	利用件数が少ない。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	ニーズが少なく、コストと利用件数の関係性を考えると、事業廃止は妥当である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	事業の見直しにより廃止

配点	32.5
総合評価	12.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302021200		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	高齢者等住宅改造助成事業		予算事業名	高齢者等住宅改造助成事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	岩田 智美
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市高齢者等住宅改造助成事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	要介護者及び心身障害者					
	誰(何)を対象として	日常生活を営む上で支障がある高齢者及び心身障害者が居住する住宅					
	意図(どのような状態にしたいのか)	住宅改造により対象者が住み慣れた住宅で安心して自立した生活ができるようにする					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		日常生活に支障をきたしている高齢者等の住宅を改造する費用を、世帯の課税状況に応じて、改造対象経費の3分の1～10/10の額を助成する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	助成件数	件	28	18	17	33	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.092	0.152	165	0.052	34	0.068	131	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,071,349	1,482,518	138	740,246	50	868,193	117	
	事業費	5,045,920	4,264,000	85	3,863,942	91	7,221,000	187	
	合計	6,117,269	5,746,518	94	4,604,188	80	8,089,193	176	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	2,442,000	2,132,000	87	1,925,000	90	3,600,000	187	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,675,269	3,614,518	98	2,679,188	74	4,489,193	168	
合計	6,117,269	5,746,518	94	4,604,188	80	8,089,193	176		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成件数							
指標説明(式)		助成件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	37	39	105.4	37	94.9	33	89.2	
	実績	28	18	64.3	17	94.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		件数あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総経費/利用件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	269,265	254,706	94.6	240,704	94.5	245127	101.8	
	実績	218,474	319,251	146.1	270835	84.8			

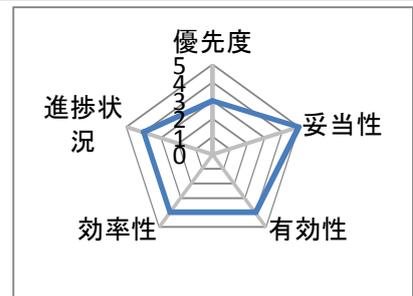
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	介護保険の住宅改修(限度額20万円)を超える工事が必要となるケースに支給され、段差解消等規模の大きい工事でも補助をうけることができる。	4
	市民サービス	身体状況に応じたバリアフリー改造を行うことで、在宅での生活を続けられる。	
効率性	コストの節減	工事内容により助成額は変化するが、現地調査時に専門家のアドバイスを受け、不要な工事は抑えられている。	4
	手段の最適性	県の補助制度に則って事業を実施している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	助成額が大きいので、県補助が無くなると実施が困難。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	制度改正により、簡易耐震診断の助成が拡大され、手続きが複雑化した。利用者の利便性を考慮し、他課との連携に努める。

配点	32.5
総合評価	25.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302021300		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	高齢者在宅生活支援事業		予算事業名	高齢者在宅生活支援事業 優先度	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	室井 良太
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		・相生市訪問理・美容サービス事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅生活を望む高齢者					
	誰(何)を対象として	65歳以上のみの世帯 ・要介護2相当以上の者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		年6回を限度に理・美容師に出張整髪してもらうための交通費代を補助する					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	延べ利用回数(寝具)	回	0	-	-	-	
	延べ利用回数(理・美容)	回	24	17	17	24	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.024	0.040	167	0.040	100	0.040	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	544,485	644,534	118	649,826	101	646,993	100	
	事業費	260,000	246,000	95	246,000	100	48,000	20	
	合計	804,485	890,534	111	895,826	101	694,993	78	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	804,485	890,534	111	895,826	101	694,993	78	
合計	804,485	890,534	111	895,826	101	694,993	78		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ利用回数の増減(寝具類の洗濯・乾燥・消毒サービス)							
指標説明(式)		延べ利用回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	4	廃止	-	-	-	-	-	
	実績	0	-	-	-	-	-	-	
指標名2		延べ利用回数の増減(訪問理・美容サービス)							
指標説明(式)		延べ利用回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	30	30	100.0	24	80.0	18	75.0	
	実績	24	17	70.8	17	100.0	-	-	

【効率性】

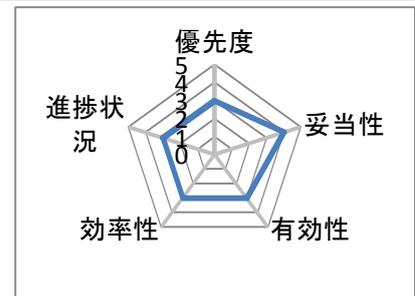
指標名1		1回あたりの事業コスト(寝具類の洗濯・乾燥・消毒サービス)							
指標説明(式)		事業費/利用回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	12000	廃止	-	-	-	-	-	
	実績	0	-	-	-	-	-	-	
指標名2		1回あたりの事業コスト(訪問理・美容サービス)							
指標説明(式)		事業費+人件費/利用回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	14006	22647.8	161.7	28281.9	124.9	38610.7	136.5	
	実績	24686.9	39913.8	161.7	41048.6	102.8			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用者により利用回数は違うが、一定の数の利用はある。	3
	市民サービス	在宅生活を、支援している家族等の負担軽減、高齢者の心身のリフレッシュを図る上で必要である。	
効率性	手段の最適性	補助金は自宅訪問のための交通費相当額とし、理・美容サービス費は実費負担とすることとしている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	周知することにより新規利用者がふえ、それに伴い実施業者も増加した。さらなる周知に努める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	さらなる周知に努め、利用者増加を目指す。

配点	32.5
総合評価	21

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302021400		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	アイアイコール事業		予算事業名	アイアイコール事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史		担当者名	室井 良太
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市アイアイコール事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	緊急時に119番通報が困難又は著しく時間のかかる高齢者					
	誰(何)を対象として	緊急性の高い疾病を有する一人暮らし高齢者や、日常生活動作に支障を来している重度身体障害者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	緊急時の生活不安を解消し、安心した在宅生活が送れるようにする。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		ひとり暮らしの高齢者等が、家庭内で緊急事態が発生した場合に、ボタンひとつで委託業者へ連絡ができ、速やかに対象者の援護を図ることができる緊急通報機器の貸与を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	年度末時の設置台数	台	225	215	190	234	
	緊急通報回数	回	28	25	20	25	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.088	0.120	136	0.120	100	0.092	77	
	臨時職員	0.004	0.004	100	0.004	100		0	
支出内訳	人件費	1,050,077	1,253,170	119	1,263,054	101	1,057,793	84	
	事業費	3,529,008	3,644,676	103	3,538,080	97	4,177,000	118	
	合計	4,579,085	4,897,846	107	4,801,134	98	5,234,793	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,579,085	4,897,846	107	4,801,134	98	5,234,793	109	
合計	4,579,085	4,897,846	107	4,801,134	98	5,234,793	109		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		設置台数(年度末時)							
指標説明(式)		設置台数(年度末時)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
台	目標	270	244	90.4	245	100.4	234	95.5	
	実績	225	215	95.6	190	88.4			
指標名2		緊急通報回数							
指標説明(式)		緊急通報回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	40	40	100.0	30	75.0	25	83.3	
	実績	28	25	89.3	20	80.0			

【効率性】

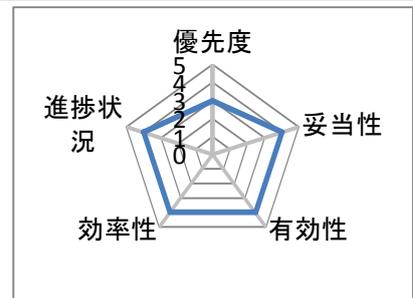
指標名1		利用者1件当たりの事業コスト							
指標説明(式)		事業費(人件費除く)/設置台数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	15630	17680	113.1	18959	107.2	17850	94.2	
	実績	15684	16952	108.1	18621	109.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、援護を必要とする利用者にとっては、在宅支援の観点から有効的なサービスとなっている。	4
効率性	負担割合の適正化	市民税課税世帯には、設置費用の自己負担あり。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	必要な方にサービスが提供できるよう更なる周知を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	総合事業の開始に伴い、事業対象者が必要と思われる方にサービスを提供していく。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302021500		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	お元気コール事業		予算事業名	お元気コール事業	
優先度	3		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当課長	三浦 貴史			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当者名	室井 良太			
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	75歳以上の一人暮らし高齢者					
	誰(何)を対象として	安否の確認を希望する75歳以上の一人暮らし高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	定期的な電話を用いた安否確認により、一人暮らし生活の安心を得る。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要	週1回、ひとり暮らしの高齢者宅に委託業者のオペレーターが電話をし、対象者の安否確認を図る。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	利用人数	人	60	60	54	60

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.064	0.080	125	0.072	90	0.084	117	
	臨時職員	0.004	0.004	100	0.004	100		0	
支出内訳	人件費	864,125	953,890	110	901,374	94	994,593	110	
	事業費	707,772	651,234	92	685,785	105	754,000	110	
	合計	1,571,897	1,605,124	102	1,587,159	99	1,748,593	110	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,571,897	1,605,124	102	1,587,159	99	1,748,593	110	
合計	1,571,897	1,605,124	102	1,587,159	99	1,748,593	110		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1	新規利用申込者								
指標説明(式)	新規利用申込者								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	10	10	100.0	10	100.0	5	50.0	
	実績	5	9	180.0	6	66.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		利用者一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費(人件費除く)／利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	12571	12571	100.0	12573	100.0	12567	100.0	
	実績	11796	10854	92.0	12700	117.0			

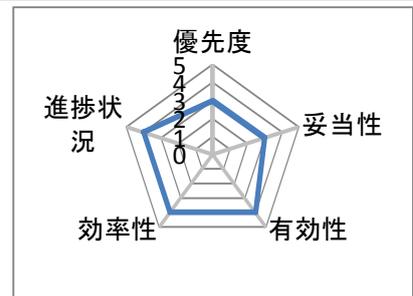
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	電話回線が有ればサービスが利用できるため、効率的で簡単に利用できる。	4
	成果の向上	事業の周知を図り、より多くの高齢者の方が安心して在宅生活を送れるようにする必要がある。	
効率性	手段の最適性	週1回で多数の利用者安否確認ができ、電話回線を活用する事が効率的である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	総合事業の開始に伴い、地縁団体の協力を得て、対面での確認方法を検討していきたい。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	地域の地縁団体(高年クラブ等)の協力が得られな いか検討していく。

配点	32.5
総合評価	22.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302021600		事業の種類	4		
年度	28	事務事業名	ひとり暮らし老人名簿事業		予算事業名			
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史		担当者名	室井 良太
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		老人福祉法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市・民生委員						
	誰(何)を対象として	65歳以上の一人暮らし高齢者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	実態調査により65歳以上の一人暮らし高齢者名簿を作成する。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		民生委員の協力の下、年2回定期的に現地調査を行い、対象者情報のほか緊急時の連絡先を聴き取り調査し、名簿を作成する。						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画		
	ひとり暮らし高齢者数(年度末)	人	1563	1552	1621	1630		

## 3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.104	0.124	119	0.144	116	0.108	75	
	臨時職員	0.008	0.008	100	0.008	100		0	
支出内訳	人件費	1,183,765	1,293,174	109	1,454,322	112	1,184,193	81	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,183,765	1,293,174	109	1,454,322	112	1,184,193	81	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,183,765	1,293,174	109	1,454,322	112	1,184,193	81	
	合計	1,183,765	1,293,174	109	1,454,322	112	1,184,193	81	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		ひとり暮らし高齢者数(年度末)							
指標説明(式)		ひとり暮らし高齢者数(年度末)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1550	1600	103.2	1560	97.5	1630	104.5	
	実績	1563	1552	99.3	1621	104.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

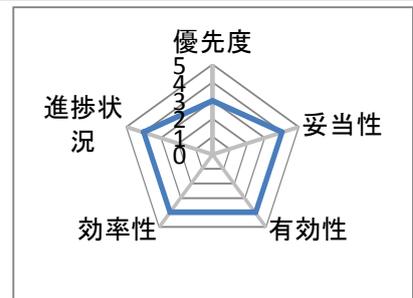
指標名1		名簿一人当たりの作成にかかる経費							
指標説明(式)		人件費／一人暮らし高齢者数(年度末)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	685	788	115.0	922	117.0	726	78.7	
	実績	761	833	109.5	897	107.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	民生児童委員の協力による戸別訪問調査のため、名簿の正確性は高く、事業目的の達成度は高い。	4
	市民サービス	安否確認はじめ必要な方へ必要なサービスを行うことができ、市民サービスの向上に役立っている。	
効率性	コストの節減	民生児童委員の個別訪問によって作成しているため、事務的経費としてのコストは発生しない。	4
	手段の最適性	地域を知る民生児童委員の戸別訪問調査によって作成しているため、名簿の正確性は高く、最適の手段である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	民生児童委員の調査を経て、担当民生児童委員が必要を感じれば、在宅介護支援センター等の訪問を行うことができる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	民生児童委員と各種関係機関の連携が円滑にいくように、関係機関に関する関係性の向上により努める。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302021700		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	火災警報器給付・取付事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	尾川 真紀
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市火災警報器給付・取付事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	情報弱者であり独力で火災警報器設置が困難な者					
	誰(何)を対象として	火災警報器が未設置の市民税非課税世帯に属する高齢者のみの世帯及び高齢者と重度障害者のみの世帯					
	意図(どのような状態にしたいのか)	火災警報器を設置し、火災からの安全・安心を図る。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		対象者宅に火災警報器を給付し、取り付ける。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	給付・取付件数	件	1	0	廃止	廃止	
	給付個数	個	2	0			

## 3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.010	0.024	240		0		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	436,013	524,822	120	348,426	66	330,993	95	
	事業費	6,048	0	0		-		-	
	合計	442,061	524,822	119	348,426	66	330,993	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	442,061	524,822	119	348,426	66	330,993	95	
合計	442,061	524,822	119	348,426	66	330,993	95		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付個数							
指標説明(式)		給付個数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
個	目標	10	8	80.0	廃止	-		-	
	実績	2	0	0.0		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		設置1件あたりの事業コスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費)÷設置件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	54193.3	84433	155.8	廃止	-		-	
	実績	442061	0	0.0		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302021800		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	老人保護措置事業	予算事業名	老人保護措置事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	古川 由紀
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法、相生市老人ホーム入所措置等規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	老人ホームへの入所が必要な者					
	誰(何)を対象として	おおむね65歳以上で、環境上の理由及び経済的な理由により居宅において生活するのが困難な者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	心身の健康の保持及び生活の安定					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		おおむね65歳以上で、環境上の理由及び経済的な理由により居宅において生活するのが困難な者を措置し、生活の安定を図る					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	年度末入所者数	人	37	42	38	45	
	虐待対応に伴う措置入所者数	人	1	2	0	1	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.248	0.380	153	0.240	63	0.192	80	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,280,037	3,188,414	140	2,156,826	68	1,847,793	86	
	事業費	71,935,137	74,970,547	104	79,377,695	106	92,189,000	116	
	合計	74,215,174	78,158,961	105	81,534,521	104	94,036,793	115	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	16,583,485	15,175,823	92	16,093,759	106	16,292,000	101	
	一般財源	57,631,689	62,983,138	109	65,440,762	104	77,744,793	119	
合計	74,215,174	78,158,961	105	81,534,521	104	94,036,793	115		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		入所人数							
指標説明(式)		入所人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	38	38	100.0	41	107.9	45	109.8	
	実績	37	42	113.5	38	90.5			
指標名2		虐待対応に伴う措置入所者数							
指標説明(式)		虐待対応に伴う措置入所者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	2	200.0	0	0.0			

【効率性】

指標名1		人数あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費/(入所人数)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	1836615	1984615	108.1	1982268	99.9	2048644	103.3	
	実績	1893030	1785013	94.3	2088886	117.0			

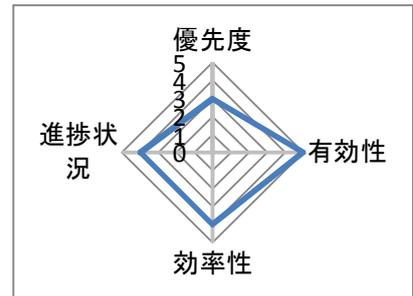
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	居宅において生活するのが困難な者を保護する事業で、セーフティーネットとして必要。	5
	関係(根拠)法令から見た効果	居宅において生活するのが困難な者を措置し、心身の健康回復、生活の安定を図ることで、老人福祉法の保護措置の実現を図っている。	
効率性	手段の最適性	法第11条及び国県の技術的助言等により、適切な措置を行っている。	4
	執行体制の効率性	施設の空き情報を適宜把握するとともに、包括支援センターと連携し、対象者の発見と速やかな保護措置ができる体制づくりを図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	虐待案件での緊急入所に対しての空床確保と施設の運営管理との調整



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	関係施設との協力関係を一層強化し、円滑に入所ができるよう取り組む。

配点	25
総合評価	19

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302021900		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	老人福祉施設等利用者負担額減免措置事業	予算事業名	老人福祉施設等利用者負担額減免措置事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	古川 由紀
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法、社会福祉法人等による利用者負担減免措置事業実施要綱、社会福祉法人等による生活困窮者に対する介護保健サービスに係る利用者負担額減免措置事業補助金					
事業の目的	誰のために(具体的に)	社会福祉法人等が提供する介護保険の施設サービス等(特別養護老人ホーム・デイサービス・ショートステイ・ホームヘルプ)を利用している者の内、低所得で生計困難な者					
	誰(何)を対象として	生計困難な低所得者を対象に利用者負担額の軽減を実施している社会福祉法人等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者負担額軽減実施の社会福祉法人等への助成により、施設サービス等を利用する高齢者の生活の安定と必要とする介護サービスの適正な実施を図る。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		対象者へ減額認定証を交付し、それを基に社会福祉法人が行った介護サービス費減額に対する補助金交付を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	減額認定証交付件数	人	3	3	3	3	
	減額認定証利用件数	人	2	2	2	2	
	施設への補助金額	円	87853	36443	0	262000	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.012	0.020	167	0.040	200	0.080	200	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	451,509	494,894	110	649,826	131	962,993	148	
	事業費	87,853	36,443	41	0	0	262,000	-	
	合計	539,362	531,337	99	649,826	122	1,224,993	189	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	65,000		0		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	474,362	531,337	112	649,826	122	1,224,993	189	
合計	539,362	531,337	99	649,826	122	1,224,993	189		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当たり減免総額							
指標説明(式)		減免総額÷減免認定利用者件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	129640	131000	101.0	131000	100.0	131000	100.0	
	実績	43927	18222	41.5	98720	541.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		一人当たり事業経費							
指標説明(式)		事業費÷減額認定証交付件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	129640	131000	101.0	131000	100.0	87333	66.7	
	実績	29284	12148	41.5	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	社会福祉法人等による利用者負担減免措置事業の実施により、低所得者が介護保険サービスを利用しやすい環境づくりに有効である。	4
	成果目標(改善)達成度	負担軽減によって低所得者の施設入所等が行いやすくなるよう事業を実施しているが、利用者実績は低い。	
効率性	負担割合の適正化	県の補助制度に則り実施しており、市の補助額の3/4相当額について県の補助金がある。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成28年度は3名の方に対し軽減が図られた。	4

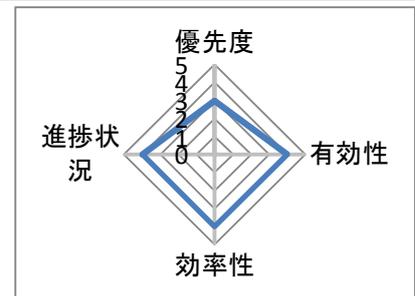
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	公共性	社会福祉法人の積極的な制度への貢献体制が必要。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	市内の社会福祉法人及びケアマネジャーへの更なる制度の周知が必要。



配点	25
総合評価	18

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302022000		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	救急医療情報キット配付事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	室井 良太
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市救急医療情報キット配付事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	健康上不安を有する者					
	誰(何)を対象として	次のいずれかに該当する者①一人暮らし高齢者②高齢者のみの世帯に属する者③重度障害者のみの世帯に属する者④高齢者と重度障害者のみの世帯に属する者⑤生命に危険な病状					
	意図(どのような状態にしたいのか)	救急搬送時に役立つ情報(既往症・服用している薬剤情報・血液型・かかりつけ医・親族等の連絡先)を入れたキットを保管し、もしものときの安全・安心を図る。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		キットに救急医療情報を入れ自宅冷蔵庫で保管してもらうとともに、キットの存在を示すステッカーを貼り、救急時に救急隊員の手を介して情報を搬送先病院に伝えることで、速やかな救急処置を図る。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	配付件数	件	65	93	64	

## 3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員			-	0.008	-	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	358,533	345,254	96	408,706	118	394,193	96	
	事業費			-		-		-	
	合計	358,533	345,254	96	408,706	118	394,193	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	358,533	345,254	96	408,706	118	394,193	96	
	合計	358,533	345,254	96	408,706	118	394,193	96	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		配付件数							
指標説明(式)		配付件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	110	80	72.7	100	125.0	80	80.0	
	実績	65	93	143.1	64	68.8			
指標名2		救急搬送時のキットの活用回数							
指標説明(式)		救急搬送時のキットの活用回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	10	5	50.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	2	5	250.0	5	100.0			

【効率性】

指標名1		救急医療情報キットの配付率							
指標説明(式)		配付件数の累計／4500(作成数)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	42.6	43.0	100.9	45.6	106.0	46.6	102.2	
	実績	41.3	43.3	104.8	44.8	103.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	救急搬送の際、キットを活用した事例があり、高齢者の健康維持に役立っている。	4
	成果の向上	平成27年度は外出時の安心を守る「あんしん見守り事業」と本事業の周知を目的としたポスターを作成し、関係機関に配付し周知を図った。	
効率性	コストの節減	キットは数年間分をまとめて作成することで、単価の軽減を図っている。	4
	手段の最適性	キット一個当たりの経費は少なく、少ない経費で大きな安心安全の効果を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りにいっている。	4

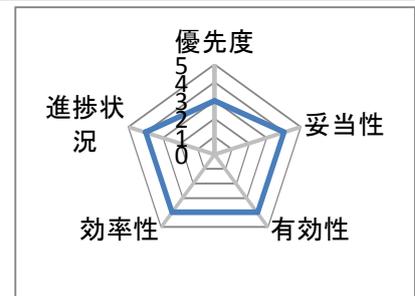
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	緊急時に備えることは、必要であるため、今後も周知啓発に備える。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	広報掲載や民生児童委員の協力も得ながら、必要な方にサービスをつなげていく。



配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302022100		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	高齢者保健福祉計画等策定に関すること		予算事業名		
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	富田 智美	
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	有	主要事業の指定		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	職員・市民					
	誰(何)を対象として	職員・市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市の高齢者保健福祉に関する計画を策定し、高齢者保健福祉施策の充実を図る。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢者保健福祉に関する計画を3年毎に策定し、施策の充実を図る。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	計画策定	件	1	0	0	1	

## 3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.128	0.024	19	0.024	100	0.180	750	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,350,277	524,822	39	529,266	101	1,752,993	331	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,350,277	524,822	39	529,266	101	1,752,993	331	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,350,277	524,822	39	529,266	101	1,752,993	331	
合計	1,350,277	524,822	39	529,266	101	1,752,993	331		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		数値での評価困難							
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

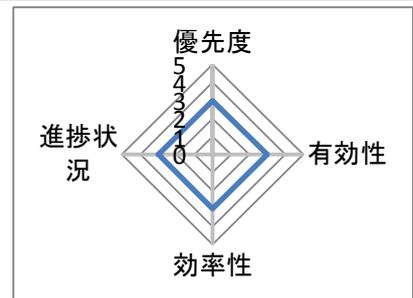
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令から見た 効果	老人福祉法に基づく必要な計画策定となっている。	3
効率性	執行体制の 効率性	平成26年度に高齢者保健福祉計画を策定した。平成27年度から平成29年度までの事業を計画に基づき遂行している。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の 効率性	計画策定に向けたニーズ把握が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	市民・ケアマネ・事業所向けのアンケートを行い、その分析結果を元に、ワークショップ形式でのヒアリングを行い、意見の反映をしていく。

配点	25
総合評価	15

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302022200		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	二次予防事業対象者把握事業		予算事業名	二次予防事業対象者把握事業 優先度	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	富田 智美
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市地域包括支援センター運営要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅の65歳以上の高齢者とその家族等					
	誰(何)を対象として	生活機能が低下し、近い将来、要支援状態や要介護状態に陥りかねない二次予防事業対象者の把握					
	意図(どのような状態にしたいのか)	要支援状態や要介護状態に陥らないよう、介護予防を図る					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		包括支援センターに委託し、対象者本人や家族、または地域からの情報により二次予防事業対象者を把握し、訪問等により支援し、必要な介護予防事業等へ繋げる。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	二次予防事業対象者数	人	629	560	175	-	
	二次予防事業の参加者数	人	89	41	54	-	

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.032	0.084	263	0.020	24		0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	606,469	973,742	161	499,126	51	330,993	66	
	事業費	4,530,981	4,103,760	91	3,000,000	73		0	
	合計	5,137,450	5,077,502	99	3,499,126	69	330,993	9	
財源内訳	国庫支出金	1,789,737	1,025,940	57	750,000	73		0	
	県支出金	894,868	512,970	57	375,000	73		0	
	市債			-		-		-	
	その他	951,506	2,051,880	216	660,000	32		0	
	一般財源	1,501,339	1,486,712	99	1,714,126	115	330,993	19	
	合計	5,137,450	5,077,502	99	3,499,126	69	330,993	9	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		二次予防事業対象者数							
指標説明(式)		目標…高齢者人口(年度初め時)の5%				実績…二次予防事業対象者数			
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	492	508	103.3	513	101.0	-	-	
	実績	629	560	89.0	175	31.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

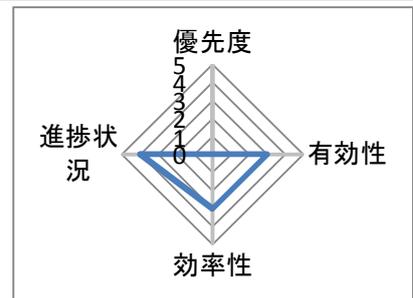
指標名1		二次予防事業対象者の把握1件当たりの委託料コスト							
指標説明(式)		総経費÷二次予防事業対象者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10776	11734	108.9	7139	60.8	—	—	
	実績	8168	9067	111.0	19995	220.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	在宅介護支援センター職員による高齢者訪問による対象者把握を行い、対象者を把握していたが、平成29年4月より開始される「総合事業」に向けて積極的にチェックリストを実施せず、適切なサービス等へ繋げていくこととする。	3
効率性	執行体制の効率性	実態把握を地域包括支援センターやブランチである在宅介護支援センターに委託することで情報の集約化が図られ、各高齢者の状態の変化に応じてきめ細やかな対応を図ることができた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	25
総合評価	10

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302022300		事業の種類	1		
年度	28	事務事業名	通所型介護予防事業		予算事業名	通所型介護予防事業	優先度	2
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	山下 恵	
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要領						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の二次予防事業対象者						
	誰(何)を対象として	65歳以上の二次予防事業対象者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護、要支援状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		二次予防事業対象者把握事業により把握された二次予防事業対象者を対象に運動機能の維持・向上を実施					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	教室開催回数	回	96	45	46	0	
	参加者数(実人数)	人	78	37	52	0	
	延べ参加者数	人	1175	351	490	0	
	新規要介護等認定者数	人	0	0	0	0	

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.180	0.080	44	0.128	160		0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,753,173	943,814	54	1,312,906	139	330,993	25	
	事業費	3,215,262	691,650	22	862,228	125		0	
	合計	4,968,435	1,635,464	33	2,175,134	133	330,993	15	
財源内訳	国庫支出金	1,242,109	408,866	33	543,783	133		0	
	県支出金	621,055	204,433	33	271,892	133		0	
	市債			-		-		-	
	その他	2,484,217	817,732	33	1,087,567	133		0	
	一般財源	621,054	204,433	33	271,892	133	330,993	122	
	合計	4,968,435	1,635,464	33	2,175,134	133	330,993	15	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業参加者数							
指標説明(式)		事業参加者の延人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1500	400	26.7	400	100.0	0	0.0	
	実績	1175	351	29.9	490	139.6			
指標名2		事業参加者からの新規認定者率							
指標説明(式)		新規認定者数÷事業参加者数(実人数)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

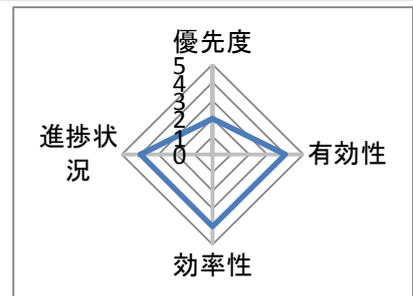
指標名1		教室1回当たりの事業コスト							
指標説明(式)		総事業費÷開催回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	54059	50741	93.9	41332	81.5	0	0.0	
	実績	51754	36343	70.2	47285	130.1			
指標名2		教室1回当たりの参加者数							
指標説明(式)		延べ参加者数÷開催回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	20	9	45.0	10	111.1	0	0.0	
	実績	12	9	75.0	10	111.1			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	延べ参加者数、1回当たり参加者数ともに目標達成できた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	参加者の教室での声から、自身の介護予防に対する意識が高まっている。	
効率性	手段の最適性	送迎利用希望者へ送迎バスを実施により、虚弱な高齢者が公平に安心して参加できるよう環境整備をしている。	4
	執行体制の効率性	教室従事者間でカンファレンスを行い、教室運営について密に情報共有できている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	教室の有効性はみられるが、介護保険制度の見直しに合わせて現状に適した地域支援事業の充実をはかる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	介護保険制度の見直しにより、対象者等実施方法含め事業見直しの必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	介護保険制度の見直しにより、事業廃止とする。

配点	25
総合評価	16

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302022400		事業の種類	1		
年度	28	事務事業名	訪問型介護予防事業		予算事業名	訪問型介護予防事業	優先度	2
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	山下 恵	
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要領						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の閉じこもり、認知症、うつ等の二次予防事業対象者(認知症・うつのおそれのある一般高齢者を含む)						
	誰(何)を対象として	65歳以上の閉じこもり、認知症、うつ等の二次予防事業対象者(認知症・うつのおそれのある一般高齢者を含む)						
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護、要支援状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるようにする						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		認知症・うつ・閉じこもりの二次予防事業対象者及び当該おそれのある一般高齢者に対し、保健師等が直接訪問し家庭における療養方法、介護を要する状態になることの予防に関する指導等を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	訪問延べ人数	人	42	28	0	0	

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.060	0.040	67	0.016	40		0	
	臨時職員		0.012	-		0		-	
支出内訳	人件費	823,413	674,762	82	468,986	70	330,993	71	
	事業費	159,305	98,580	62	14,580	15		0	
	合計	982,718	773,342	79	483,566	63	330,993	68	
財源内訳	国庫支出金	245,680	193,335	79	120,891	63		0	
	県支出金	122,840	96,668	79	60,446	63		0	
	市債			-		-		-	
	その他	491,359	386,671	79	241,783	63		0	
	一般財源	122,839	96,668	79	60,446	63	330,993	548	
	合計	982,718	773,342	79	483,566	63	330,993	68	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		訪問指導者数の増減							
指標説明(式)		訪問指導者数の増減							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	80	60	75.0	60	100.0	0	0.0	
	実績	42	28	66.7	0	0.0			
指標名2		新規介護認定者数の増減							
指標説明(式)		新規介護認定者数の増減							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	2	0	0.0	0	-			

【効率性】

指標名1		訪問1回あたりのコスト							
指標説明(式)		5,500円/回							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	5500	5500	100.0	5500	100.0	0	0.0	
	実績	5500	5500	100.0	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新たな支援体制の構築により、訪問指導のニーズに対する支援が多様化しており本事業における対象者の該当がなく実績無し。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	介護予防の考えに則した実施内容である。	
効率性	手段の最適性	委託専門職による定期的な訪問ができ、個別ケアプランに則した訪問実施の体制は構築出来ていた。	3
	執行体制の効率性	地域包括支援センターの職員とともに連携できる体制は構築できている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新しい総合事業にむけて、現状に適した事業の充実をはかる。	3

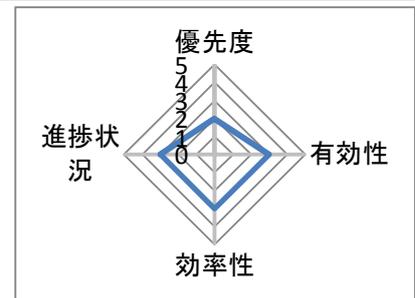
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	介護保険制度の見直しにより、対象者等実施方法含め事業見直しの必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	介護保険制度の見直しにより、事業廃止とする。



配点	25
総合評価	13

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302022600		事業の種類	1		
年度	28	事務事業名	普及啓発事業		予算事業名	普及啓発事業		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	山下 恵
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の一般高齢者						
	誰(何)を対象として	65歳以上の一般高齢者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護予防に資する基本的な知識を普及啓発する						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するためのパンフレット等の作成及び配布					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	パンフレット配布数	部	3000	3000	3000	3000	

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.074	0.056	76	0.052	93	0.028	54	
	臨時職員			-	0.020	-		0	
支出内訳	人件費	931,885	764,246	82	792,386	104	552,193	70	
	事業費	328,677	276,248	84	294,674	107		0	
	合計	1,260,562	1,040,494	83	1,087,060	104	552,193	51	
財源内訳	国庫支出金	315,141	260,123	83	271,765	104	138,049	51	
	県支出金	157,570	130,062	83	135,882	104	69,024	51	
	市債			-		-		-	
	その他	630,281	520,247	83	543,530	104	276,096	51	
	一般財源	157,570	130,062	83	135,883	104	69,024	51	
	合計	1,260,562	1,040,494	83	1,087,060	104	552,193	51	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

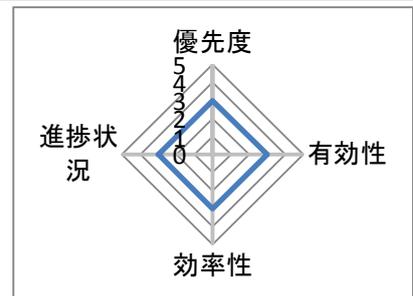
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	健康な状態のときから、介護予防に資する基本的な知識の普及が図れる。	3
効率性	手段の最適性	生活習慣病健康診査時に配布するため、直接保健師から説明し手渡すことが出来る。その他、市民要望講座等でも随時普及啓発している。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	多くの方に直接対面で情報提供できるため実施方法としては最適であるため、現状維持



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	特定健診以外にも、機会を捉えて実施

配点	25
総合評価	15

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302022700		事業の種類	1		
年度	28	事務事業名	健康大学講座事業		予算事業名	健康大学講座事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	井上 勇治	
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要領						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の一般高齢者						
	誰(何)を対象として	65歳以上の一般高齢者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康に関する意識の高揚を図り、要介護、要支援状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢者を対象に医学の専門医を講師に招き、健康(介護予防を含む)に関する講座を相生市医師会と共催で開催。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	回数	回	10	10	10	10	
	人数	人	1301	2118	2300	2300	

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.080	0.068	85	0.060	88	0.052	87	
	臨時職員	0.040	0.020	50	0.040	200	0.040	100	
支出内訳	人件費	1,075,573	904,410	84	904,806	100	852,553	94	
	事業費	400,000	400,000	100	400,000	100		0	
	合計	1,475,573	1,304,410	88	1,304,806	100	852,553	65	
財源内訳	国庫支出金	100,000	100,000	100	100,000	100	100,000	100	
	県支出金	50,000	50,000	100	50,000	100	50,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他	200,000		0		-		-	
	一般財源	1,125,573	1,154,410	103	1,154,806	100	702,553	61	
	合計	1,475,573	1,304,410	88	1,304,806	100	852,553	65	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ参加者の増減							
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1700	1700	100.0	2000	117.6	2300	115.0	
	実績	1301	2118	162.8	2300	108.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		1人当たり事業費							
指標説明(式)		事業費／参加者							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	868	767	88.4	630	82.1	544	86.3	
	実績	1134	615	54.2	567	92.2			
指標名2		事業費の負担単価							
指標説明(式)		100,000円／回							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	100000	100000	100.0	100000	100.0	100000	100.0	
	実績	100000	100000	100.0	100000	100.0			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生市文化会館中ホールにて、10回開催した。	4
	市民サービス	健康に関する関心は高く、特に高齢者のニーズは高いと考えている。	
効率性	手段の最適性	講師の都合により木曜日の午後に、相生市文化会館中ホールにて、開催した。	3
	コストの節減	相生市医師会と共催で開催。収容人員も充分にある相生市文化会館中ホールにて開催した。市の負担割合4回分相当額を負担。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	予定した10回の健康大学講座が開催できた。	4

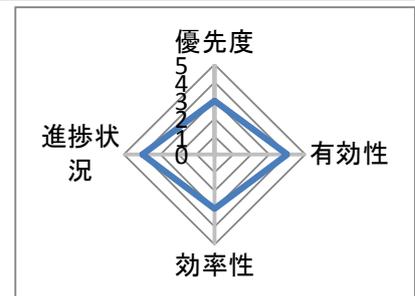
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	参加者数に見合った会場選択。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	受講者増に対応し、29年度開催で利用する相生市文化会館大ホールの継続利用。



配点	25
総合評価	17

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302023200		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	配食サービス事業		予算事業名	配食サービス事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史		担当者名	室井 良太
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市配食サービス事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	弁当の宅配と安否確認を必要とする高齢者					
	誰(何)を対象として	市民税非課税世帯に属する食事の準備がしにくい65歳以上の者及び重度障害者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	栄養バランスのとれた食生活が営めるように					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		見守りと栄養改善を目的に、委託業者による食事の宅配を行うとともに、対象者に対し、月20食を限度に、1食あたり200円の助成券を支給する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	延べ利用食数	食	26,528	24,941	25,673	28,704	

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.144	0.132	92	0.142	108	0.128	90	
	臨時職員	0.004	0.040	1,000	0.004	10		0	
支出内訳	人件費	1,483,965	1,433,638	97	1,428,824	100	1,342,193	94	
	事業費	5,613,365	5,331,752	95	5,247,298	98	5,896,000	112	
	合計	7,097,330	6,765,390	95	6,676,122	99	7,238,193	108	
財源内訳	国庫支出金	2,217,279	2,079,383	94		0		-	
	県支出金	1,108,639	666,469	60		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他	1,178,806	1,172,985	100		0		-	
	一般財源	2,592,606	2,846,553	110	6,676,122	235	7,238,193	108	
	合計	7,097,330	6,765,390	95	6,676,122	99	7,238,193	108	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ利用食数							
指標説明(式)		延べ利用食数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
食	目標	31,248	30,625	98.0	28,704	93.7	28,704	100.0	
	実績	26,528	24,941	94.0	25,673	102.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		利用1回あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総事業費／延べ利用回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	249.5	254.7	102.1	260.5	102.3	252.2	96.8	
	実績	267.5	271.3	101.4	260.0	95.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	在宅生活が維持されることによって、住み慣れた地域での高齢者の生活継続が、本市にとって施設整備を抑制し保険料の軽減が図られる。	3
効率性	手段の最適性	親族による家事援助等を促すため、土日祝を除き、月20食を限度にサービスを提供しているが、手助けが得られない場合を考慮すると、月20食の限度の見直しの検討は必要。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

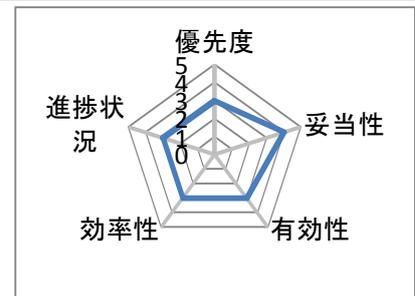
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	必要とする対象者への周知に努める必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	必要とする対象者に利用していただくために各種関係機関の協力のもと、さらなる周知に努める必要がある。



配点	32.5
総合評価	21

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

事業番号		020302023300		事業の種類		4	
年度	28	事務事業名	認知症高齢者サポート事業	予算事業名	認知症高齢者サポート事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	富田 智美
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		「認知症サポーター等養成事業の実施について」(平成18年7月12日老計発第0712001号厚生労働省)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	認知症を患った方及びその家族					
	誰(何)を対象として	市民及び市内事業所・学校に通勤されている方					
	意図(どのような状態にしたいのか)	身近な地域で認知症の方を発見しケアできる社会環境を整備し、認知症を患っても本人および家族が安心して生活できるようにする					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		キャラバンメイト養成研修を受講した方々を講師とし、地域住民・職場・学校・団体等を対象に認知症サポーター養成講座を開催する。また、フォローアップ講座を年1回開催する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	認サポ開催回数	回	22	24	18	20	
	認サポ延べ受講者数	人	593	707	558	500	

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.400	0.220	55	0.260	118	0.212	82	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,457,733	1,991,294	58	2,307,526	116	2,005,793	87	
	事業費	73,740	151,060	205	294,125	195	527,000	179	
	合計	3,531,473	2,142,354	61	2,601,651	121	2,532,793	97	
財源内訳	国庫支出金	29,127	58,913	202	114,708	195	205,530	179	
	県支出金	14,563	29,456	202	57,354	195	102,765	179	
	市債			-		-		-	
	その他	15,485	33,233	215	64,707	195	115,940	179	
	一般財源	3,472,298	2,020,752	58	2,364,882	117	2,108,558	89	
	合計	3,531,473	2,142,354	61	2,601,651	121	2,532,793	97	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		開催回数の増減							
指標説明(式)		認知症サポーター養成研修開催回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	13	12	92.3	20	166.7	20	100.0	
	実績	22	24	109.1	18	75.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		受講者数の増減							
指標説明(式)		延べ受講者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	900	500	55.6	500	100.0	500	100.0	
	実績	593	707	119.2	558	78.9			

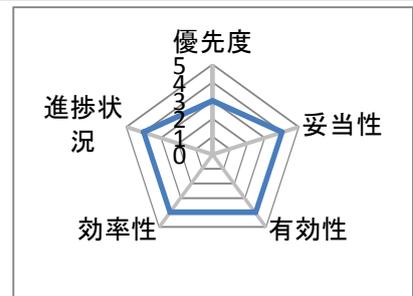
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	認知症についての正しい知識を普及するとともに、サポーターが増える事で認知症の方やその家族の暮らしやすい環境が整備できる	4
効率性	コストの節減	講師を務めるキャラバンメイトは無報酬であり、低コストで認知症サポーターの養成ができています	4
	執行体制の効率性	講師役をつとめるキャラバン・メイトについても、近隣や県の研修に受講案内し、メイトの数も増えている。認知症サポーター養成と合わせキャラバンメイトの養成は不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	受講者は当初の目標値を達成した。今後は、サポーターのレベルアップと活動の場を紹介していく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	キャラバン・メイトの役割分担について、連絡会で深める必要がある。またさらなるスキルアップに向けて研修を実施する。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

事業番号		020302023400		事業の種類		1	
年度	28	事務事業名	後期高齢者医療保険事業	予算事業名	後期高齢者医療保険事業ほか	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 市民生活部市民課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	大西 博之	担当者名	木下 卓巳
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		後期高齢者医療制度整備事業(更新)		後期高齢者医療制度整備事業(保守)			
		社会保障・税番号制度システム整備事業(後期)					
根拠法規及び関連法規		高齢者の医療の確保に関する法律、後期高齢者医療に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	後期高齢者医療制度被保険者					
	誰(何)を対象として	後期高齢者医療制度被保険者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者に適切な医療給付、賦課を行うことにより、持続可能な制度とし、高齢者が健やかで安心した生活を送れるようにする					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		後期高齢者医療被保険者の療養諸費、高額療養費、葬祭費等給付の受付、保険料の賦課、納入通知書の送付事業					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	保険料賦課総額	円	345,988,223	343,507,851	359,523,747	381,329,952	
	年度末被保険者数	人	4806	4962	5088	5200	
	市町負担金	円	422,497,339	427,474,423	437,625,236	472,404,000	

## 3 投入資源

会計区分 後期高齢者特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	1.685	1.740	103	1.803	104	1.814	101	
	臨時職員	0.155	0.118	76	0.205	174	0.209	102	
支出内訳	人件費	13,790,563	13,661,176	99	14,468,466	106	15,240,314	105	
	事業費	429,003,004	439,017,409	102	444,224,019	101	489,524,000	110	
	合計	442,793,567	452,678,585	102	458,692,485	101	504,764,314	110	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	58,443,727	61,603,458	105	65,566,505	106	69,508,000	106	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	384,349,840	391,075,127	102	393,125,980	101	435,256,314	111	
合計	442,793,567	452,678,585	102	458,692,485	101	504,764,314	110		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの保険料賦課額							
指標説明(式)		保険料賦課総額/年度末被保険者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	76,362	77,181	101.1	73763	95.6	73333	99.4	
	実績	71,544	69228	96.8	70661	102.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		後期高齢者医療制度事業1人当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-市町負担金)/年度末被保険者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4,180	4,291	102.7	4488	104.6	6223	138.7	
	実績	4223	5079	120.3	4141	81.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	高齢者の疾病、負傷又は死亡に関する事務、保険料の徴収の事務などを処理し、高齢者の福祉の増進を図ることができた。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	前年度は、マイナンバー関係のシステム整備事業に要した費用によりコストが上昇したが、当年度は、被保険者数が増加したこともあり、1人当りコストは、前々年度とほぼ同様となった。	4
	執行体制の効率性	事業実施にあたり、迅速、適正な事務処理体制をとっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

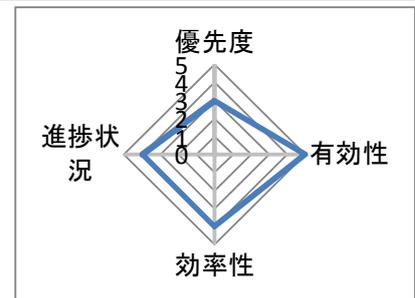
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	国保からの移行など制度を周知する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	国保からの移行、軽減特例の縮減など、制度の周知を図る。



配点	25
総合評価	19

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

事業番号	020302023500		事業の種類	1			
年度	28	事務事業名	介護予防推進講座事業	予算事業名	介護予防推進講座事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	山下 恵	
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	介護保険法、介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の方(介護保険の要支援・要介護認定者を除く)					
	誰(何)を対象として	65歳以上の方(介護保険の要支援・要介護認定者を除く)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護予防活動に関心を持ち、自らも健康の維持増進を実践すると共に、地域において介護予防活動を推進できる人材となる。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要	運動機能の維持向上、栄養・口腔・認知症等に関する講話を含む講座を1回あたり概ね2時間として実施する。実施回数等は、月1回、5ヵ月間、全5回とし、市内各地区公民館等6か所にて実施する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	開催回数	回		30	30	15
	実参加者数	人		116	130	90
	延べ参加者数	人		428	450	300

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	-	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員		0.160	-	0.160	100	0.080	50	
	臨時職員		0.040	-	0.042	105	0.040	95	
支出内訳	人件費		1,643,134	-	1,663,520	101	1,073,753	65	
	事業費		568,128	-	676,378	119		0	
	合計		2,211,262	-	2,339,898	106	1,073,753	46	
財源内訳	国庫支出金		552,815	-	584,975	106	268,439	46	
	県支出金		276,408	-	292,487	106	134,219	46	
	市債			-		-		-	
	その他		1,105,631	-	1,169,949	106	536,876	46	
	一般財源		276,408	-	292,487	106	134,219	46	
	合計		2,211,262	-	2,339,898	106	1,073,753	46	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1	事業参加者数								
指標説明(式)	事業参加者の延べ人数								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標		430	-	430	100.0	300	69.8	
	実績		428	-	450	105.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

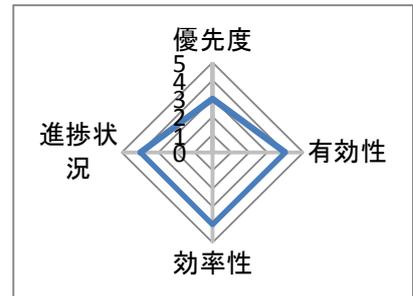
指標名1		教室1回当たりの事業コスト							
指標説明(式)		総事業費÷開催回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標		74000	-	75160	101.6	71583	95.2	
	実績		73708	-	77996	105.8			
指標名2		教室1回当たりの参加者数							
指標説明(式)		延べ参加者数÷開催回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標		20	-	15	75.0	20	133.3	
	実績		14	-	15	107.1			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	延べ参加者数など目標達成できた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	介護予防の視点に即した実施内容である。	
効率性	手段の最適性	各地域公民館等での開催とし、身近な地域の方と介護予防について学ぶ機会となっている。	4
	執行体制の効率性	各分野の専門職からの指導体制を整え、全5回講座を一連の流れとなるよう情報交換しつつ取り組んでいる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調にすすんでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	延べ参加者数など目標達成できたが、募集定員に達しない開催場所もあるため、周知等を見直す。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	一般介護予防事業として、いきいき百歳体操など次の予防活動へつながるような動機付けの機会とさらになるよう実施内容等の見直しを図る。

配点	25
総合評価	18

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302023600		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	高齢者見守り事業		予算事業名	高齢者見守り事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	富田 智美
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	認知症を含む高齢者					
	誰(何)を対象として	市民及び市内事業所で勤務されている方					
	意図(どのような状態にしたいのか)	身近な地域で認知症を含む高齢者を地域で見守りし、安心して地域で生活できるようにする					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		認知症を含む高齢者の事前登録、日頃の見守り、緊急時(搜索)の見守りを目的として「見守りSOSネットワーク」を構築を推進する。また、介護者に対し徘徊高齢者等支援サービス(GPSの初期費用の補助)も実施している。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	事前登録者	人	—	15	19	20	
	協力機関登録	団体		0	75	10	
	行方不明者搜索依頼	件		0	0	0	

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	-	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員		0.300	-	0.412	137	0.268	65	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費		2,589,854	-	3,452,846	133	2,448,193	71	
	事業費		603,469	-	53,316	9	107,000	201	
	合計		3,193,323	-	3,506,162	110	2,555,193	73	
財源内訳	国庫支出金		235,352	-	20,793	9	41,730	201	
	県支出金		117,676	-	10,396	9	20,865	201	
	市債			-		-		-	
	その他		132,763	-	14,928	11	29,960	201	
	一般財源		2,707,532	-	3,460,045	128	2,462,638	71	
合計		3,193,323	-	3,506,162	110	2,555,193	73		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		事前登録者の増減							
指標説明(式)		あんしん見守り事業(事前登録者)の登録者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標		15	-	20	133.3	20	100.0	
	実績		15	-	19	126.7			
指標名2		見守りSOSネットワーク協力機関の増減							
指標説明(式)		協力機関登録件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
団体	目標		-	-	50	-	10	20.0	
	実績		0	-	75	-			

【効率性】

指標名1		事前登録者の割合							
指標説明(式)		事前登録者／高齢者人口							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標		-	-	0.00194	-	0.00097	50.0	
	実績		0.0146	-	0.00183	12.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	身近な地域で認知症を含む高齢者を地域で見守りし、安心して地域で生活できるようにする。	4
	成果の向上	見守りSOSネットワークの関係機関と協力機関が集まって、連絡会を開催した。各機関が事業の内容を確認し、自らの役割を再確認できた。	
効率性	コストの節減	事前登録者に配布する「見守りグッズ」は、平成27年予算で一括購入することにより、経費削減を図った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

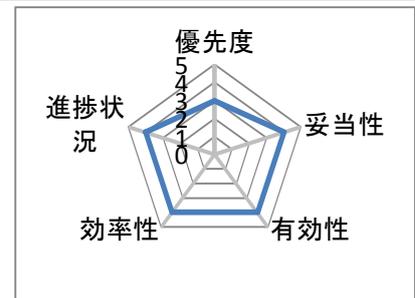
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	事前登録者の数が伸びていない。元気な方でも登録できる旨を周知する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	地域で見守りの体制を構築してもらう為に、見守り声かけ訓練を実施する。



配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302023700		事業の種類	9	
年度	28	事務事業名	総合事業費精算事業		予算事業名	総合事業費精算事業	優先度
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	古川 由紀	
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載		主要事業の指定		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	住所地特例者					
	誰(何)を対象として	住所地特例者が他市町で総合事業を利用した場合のための清算金					
	意図(どのような状態にしたいのか)	住所地特例者が他市町で総合事業を利用した場合清算するため					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		住所地特例者が他市町で総合事業を利用した場合の清算金				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	予算額(科目設置)			0	0	1000

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	-	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員			-		-	0.020	-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費		345,254	-	348,426	101	488,993	140	
	事業費		0	-	0	-		-	
	合計		345,254	-	348,426	101	488,993	140	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		345,254	-	348,426	101	488,993	140	
合計		345,254	-	348,426	101	488,993	140		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

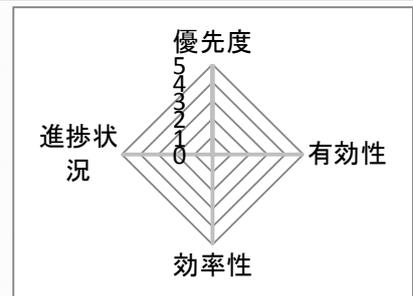
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

事業番号	020302040100		事業の種類	1			
年度	28	事務事業名	地域包括支援センター運営事業	予算事業名	包括的支援事業	優先度	5
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	富田 智美	
取組み事項	在宅福祉の窓口を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	相生市地域包括支援センター運営要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅の65歳以上の高齢者とその家族等					
	誰(何)を対象として	総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的継続的ケアマネジメント業務、介護予防に関するケアマネジメント業務の実施					
	意図(どのような状態にしたいのか)	住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活が継続できるようにする					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要	相生市医師会に運営委託し、地域包括支援センターの各種業務(総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的継続的ケアマネジメント業務、介護予防に関するケアマネジメント業務等)を実施している(平成18年度より開設)。						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	総合相談支援業務	件数	1057	1292	1760	1400	
	権利擁護業務	件数	74	66	56	70	
	包括的継続的ケアマネジメント業務	件数	63	155	323	160	
	プランに係る訪問件数+地域連携件数	件数	2999	3754	3558	3870	

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.320	0.720	225	0.420	58	0.340	81	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,837,893	5,732,294	202	3,513,126	61	3,016,993	86	
	事業費	40,132,920	43,152,920	108	53,108,456	123	49,082,000	92	
	合計	42,970,813	48,885,214	114	56,621,582	116	52,098,993	92	
財源内訳	国庫支出金	15,852,503	16,829,638	106	20,712,297	123	19,141,980	92	
	県支出金	7,926,252	8,414,819	106	10,356,148	123	9,570,990	92	
	市債			-		-		-	
	その他	8,427,913	9,493,642	113	11,683,860	123	10,798,040	92	
	一般財源	10,764,145	14,147,115	131	13,869,277	98	12,587,983	91	
	合計	42,970,813	48,885,214	114	56,621,582	116	52,098,993	92	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1	活動実績								
指標説明(式)	総合相談支援業務件数+権利擁護業務件数+包括的継続的ケアマネジメント件数+介護予防事業ケアマネジメント+予防防給付ケアマネジメント件数+地域連携件数								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	4200	4400	104.8	5500	125.0	5500	100.0	
	実績	4193	5267	125.6	5697	108.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		活動実績の1件当たり委託料コスト							
指標説明(式)		支出事業費÷(総合相談支援業務件数+権利擁護業務件数+包括的継続的ケアマネジメント件数+介護予防事業ケアマネジメント+予防給付ケアマネジメント件数+地域連携件数)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	9585	9888	103.2	9029	91.3	8924	98.8	
	実績	9571	8193	85.6	9322	113.8			

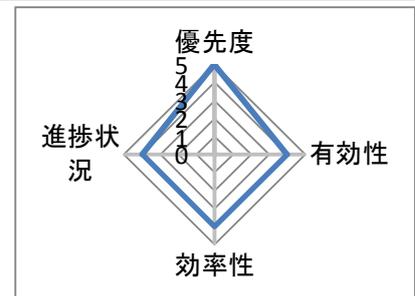
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	活動実績が高く、高齢者在宅福祉の重要な機関として市民の認知度が浸透している。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	高齢者の総合相談機関として、また住み慣れた地域で生活継続を図るための介護予防機関として、在宅高齢者及びその家族の福祉増進が図られている。	
効率性	執行体制の効率性	高齢者からの相談を包括的に受けることで、各高齢者の情報の集約化と効率的な在宅サービスの提供が図られている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	事業内容が多岐に渡り、事業費が増大している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	包括的支援事業等の実施における自己評価を導入し、事業のPDCAサイクル化を図る。

配点	25
総合評価	22

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020302040200		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	市民後見推進事業		予算事業名	市民後見推進事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史		担当者名	尾川 真紀
取組み事項	在宅福祉の窓口を充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法第32条の2					
事業の目的	誰のために(具体的に)	判断能力が不十分となった高齢者等及び家族					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者等が安心して暮らせるよう、後見制度の浸透を図るとともに、市民後見人推進体制の確立を図る。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		判断能力が不十分となった高齢者等が安心して暮らせるよう、後見制度の浸透を図るとともに、市民後見人推進体制の確立を図る。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	成年後見支援センターとの連絡会の開催回数	回	0	0	6	6	
	市民後見人養成人数	人	0	0	0	3	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.080	0.160	200	0.096	60	0.120	125	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	978,373	1,542,374	158	1,071,786	69	1,278,993	119	
	事業費	300,380	87,640	29	1,620,044	1,849	1,810,000	112	
	合計	1,278,753	1,630,014	127	2,691,830	165	3,088,993	115	
財源内訳	国庫支出金	300,000		0		-		-	
	県支出金		87,000	-	1,572,000	1,807	1,740,000	111	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	978,753	1,543,014	158	1,119,830	73	1,348,993	120	
合計	1,278,753	1,630,014	127	2,691,830	165	3,088,993	115		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		西播磨成年後見支援センターとの連絡会の開催回数							
指標説明(式)		西播磨成年後見支援センターとの連絡会の開催回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	0	0	-	6	-	6	100.0	
	実績	0	0	-	6	-			
指標名2		専門職による成年後見相談会の実施回数							
指標説明(式)		専門職による成年後見相談会の実施回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	0	0	-	2	-	2	100.0	
	実績	0	0	-	2	-			

【効率性】

指標名1		事業費に対する市の負担割合							
指標説明(式)		事業費に対する市の負担割合							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	70000	-	
	実績	0	0	-	48044	-			
指標名2									
指標説明(式)		専門職による成年後見相談会の実施回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標		0	-		-		-	
	実績	0	0	-	2	-			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	市民への後見制度及び市民後見人に対する普及啓発を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを図る。	3
	組織運営・適正管理	西播磨成年後見支援センターとの連絡会を定期的に行い、センターの適正な運営、有効な活用を努めた。	
効率性	執行体制の効率性	西播磨成年後見支援センターが設立されたことにより、専門職や他市町との連携がしやすくなり、より高度な相談に対応できる環境ができた。	4
	コストの節減	西播磨成年後見支援センターと協力することで、市だけでは開催が難しい市民後見人養成研修や講演会を毎年安定的に実施できるようになった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

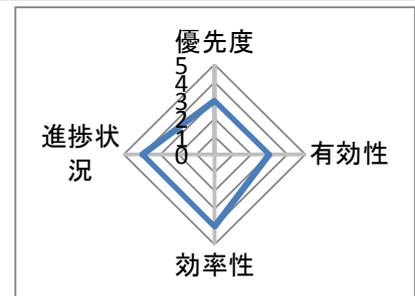
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	西播磨成年後見支援センターが設立され、専門職との連携などが図りやすくなったが、後見センターの認知度、相談件数がまだまだ少ない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	西播磨成年後見支援センターの周知、事業のPRなどに努める。



配点	25
総合評価	17

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020303010100		事業の種類	9		
年度	28	事務事業名	介護給付費準備基金積立金		予算事業名	介護保険事業		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		その他		担当課長	三浦 貴史		担当者名	古川 由紀
取組み事項		その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市介護給付費準備基金条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護給付事務を円滑に進めるため						
	誰(何)を対象として	介護給付事務を円滑に進めるため						
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護給付事務を円滑に進めるため						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		介護給付費準備基金利子及び前年度繰越分の積立						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画		
	積立金(残高)	円	166990232	24310615	38101000	8159000		

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.072	0.024	33	0.024	100	0.028	117	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	916,389	524,822	57	529,266	101	552,193	104	
	事業費	18,721,619	24,310,615	130	38,101,000	157	8,159,000	21	
	合計	19,638,008	24,835,437	126	38,630,266	156	8,711,193	23	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	19,638,008	24,835,437	126	38,630,266	156	8,711,193	23	
合計	19,638,008	24,835,437	126	38,630,266	156	8,711,193	23		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

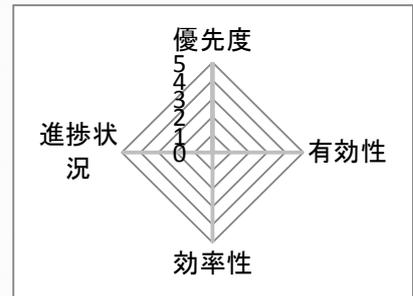
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020303010200		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	還付金	予算事業名	介護保険事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		その他		担当課長	三浦 貴史	担当者名	尾川 真紀
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の市民					
	誰(何)を対象として	65歳以上の市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な保険料賦課					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		保険料の還付					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	保険料還付人数	人	38	34	24	35	

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.100	0.044	44	0.076	173	0.020	26	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,133,333	674,462	60	921,086	137	488,993	53	
	事業費	455,507	274,507	60	295,600	108		0	
	合計	1,588,840	948,969	60	1,216,686	128	488,993	40	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,588,840	948,969	60	1,216,686	128	488,993	40	
	合計	1,588,840	948,969	60	1,216,686	128	488,993	40	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		高齢化率							
指標説明(式)		高齢者数/相生市人口							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	33	33	100.0	34	103.0	35	102.9	
	実績	33.33	33.78	101.4	34.24	101.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

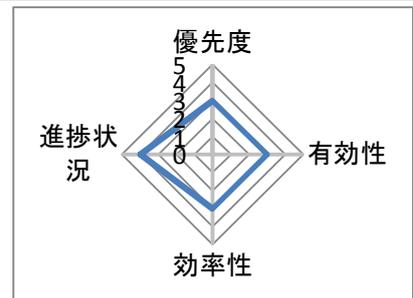
指標名1		還付状況(一人当たりの事業費)							
指標説明(式)		総事業費/還付人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	18582	26599	143.1	30000	112.8	13971	46.6	
	実績	41811	27911	66.8	50695	181.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	適正・確実に還付を行った。	3
	組織運営・適正管理	適正・確実に還付を行った。	
効率性	手段の最適性	適正・確実に還付を行った。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	速やかな還付処理を行っている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	平成29年度より徴収対策室へ業務を移管し、連携により速やかに処理していく。

配点	25
総合評価	16

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020303010300		事業の種類	9	
年度	28	事務事業名	償還金	予算事業名	介護保険事業	優先度	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		その他		担当課長	三浦 貴史	担当者名	古川 由紀
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	国・県					
	誰(何)を対象として	国・県への返還金					
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業精算後、国・県から補助金返還の要請があった場合に返還する業務					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		事業精算後、国・県から補助金返還の要請があった場合に返還する業務					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	社会保険診療報酬支払基金償還金	円	1312907	485834	1602709	0	
	国庫負担金償還金	円	4795455	10417819	10491756	0	
	県費負担金償還金	円	1312907	7945739	2605410	0	

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位：円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.028	0.032	114	0.032	100	0.036	113	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	575,477	584,678	102	589,546	101	615,393	104	
	事業費	7,364,383	18,849,392	256	14,699,875	78	1,000	0	
	合計	7,939,860	19,434,070	245	15,289,421	79	616,393	4	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,939,860	19,434,070	245	15,289,421	79	616,393	4	
	合計	7,939,860	19,434,070	245	15,289,421	79	616,393	4	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位：円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

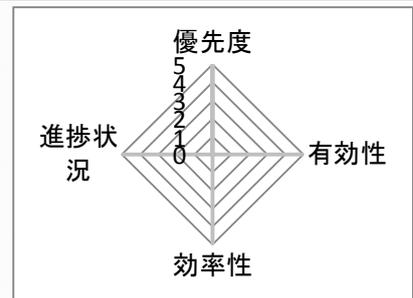
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020303010400		事業の種類	9	
年度	28	事務事業名	予備費	予算事業名	介護保険事業	優先度	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)	その他		担当課長	三浦 貴史	担当者名	古川 由紀	
取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護保険事業					
	誰(何)を対象として	介護保険事業の円滑化					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護保険事業の不測の事態に備えるため					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険事業の不測の事態に備えるため					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	

## 3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	358,533	345,254	96	348,426	101	330,993	95	
	事業費	0	0	-	0	-	1,000,000	-	
	合計	358,533	345,254	96	348,426	101	1,330,993	382	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	358,533	345,254	96	348,426	101	1,330,993	382	
合計	358,533	345,254	96	348,426	101	1,330,993	382		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

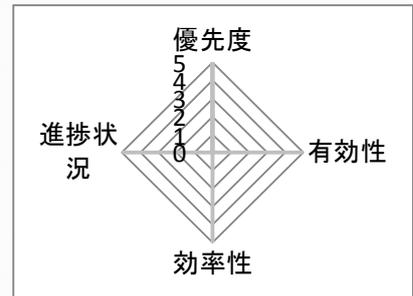
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	020303010500		事業の種類	9	
年度	28	事務事業名	予備費	予算事業名		優先度	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課			
施策名(中)	その他		担当課長	大西 博之	担当者名	木下 卓巳	
取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	後期高齢者医療特別会計					
	誰(何)を対象として	後期高齢者医療特別会計					
	意図(どのような状態にしたいのか)	後期高齢者医療特別会計の円滑な運営のため					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		後期高齢者医療特別会計の円滑な運営のために予備費を計上					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	予備費	円	0	0	0	200000	

## 3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	358,533	345,254	96	348,426	101	330,993	95	
	事業費			-		-		-	
	合計	358,533	345,254	96	348,426	101	330,993	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	358,533	345,254	96	348,426	101	330,993	95	
合計	358,533	345,254	96	348,426	101	330,993	95		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

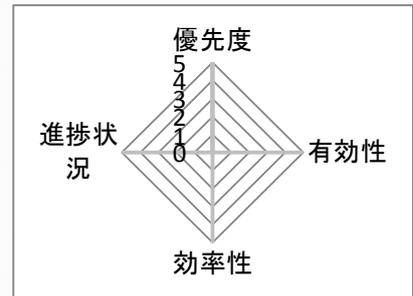
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0